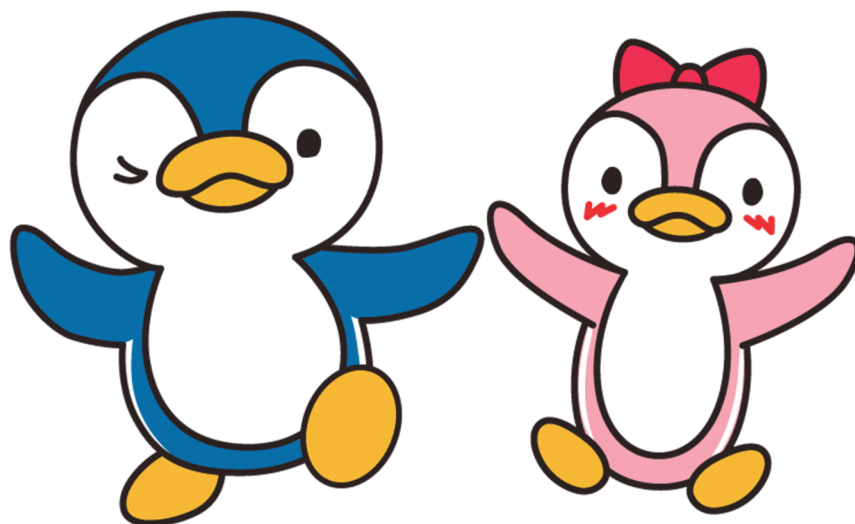


令和6年度 地域スポーツクラブ支援事業
事業報告書



令和7年3月

公益財団法人東京都スポーツ協会

目 次

はじめに	1
I 中間支援組織事業	
i 指導者派遣事業	2
ii 特別アドバイザー相談事業	3
iii 支援アドバイザー相談事業	3
iv 講習会・研修会・連絡協議会	4
v 地域スポーツクラブ交流会	5
vi 情報提供事業 (東京都地域スポーツクラブサポートネット)	9
II 地域スポーツクラブ都民参加事業及びシニアスポーツ振興事業	10
III 登録・認証制度の運用	
i 登録クラブ	13
ii 総合型地域スポーツクラブ東京都協議会	14
IV 学校部活動の地域連携・地域移行調整事業	15
V 令和6年度東京都における地域スポーツクラブ活動状況報告	16

はじめに

地域スポーツクラブ（以下「クラブ」という。）は、子供から高齢者、障害者を含め、誰もがスポーツに親しむことができる場としての役割とともに、地域の方々の交流が図れる場として、地域コミュニティの形成やクラブを中心とした新しい公共を創出する役割が期待されてきました。

国は、令和4年4月1日から新たに、クラブが地方自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たしていくため、活動実態や運営実態、ガバナンス等についての要件を基準とした、「登録・認証制度」の運用を開始しました。

さらに、子供達のスポーツ環境をより充実させ、持続可能なものにしていくため、運動部活動を学校単位から地域単位の取組にしていくことを含めた「運動部活動改革」を推進しており、その受け皿の1つとして、クラブに対する期待はますます高まっています。

現在都内には、57区市町村に162クラブ（令和7年3月末時点）が設立され、各地域において多様なスポーツ活動が行われています。

本報告書には、令和6年度の地域スポーツクラブ支援事業の取組をまとめております。各クラブの一層の発展と、「スポーツフィールド東京」の実現につながる活動にご活用いただければ幸いです。

令和7年3月

公益財団法人東京都スポーツ協会

I 中間支援組織事業

i 指導者派遣事業

1 目的

本事業は、地域スポーツクラブの設立や運営、活動内容の充実を支援することを目的として実施しました。地域スポーツクラブの設立を考えている団体（区市町村を含む）や設立後の地域スポーツクラブから申請を受け、それぞれの申請内容に適した指導者を派遣します。

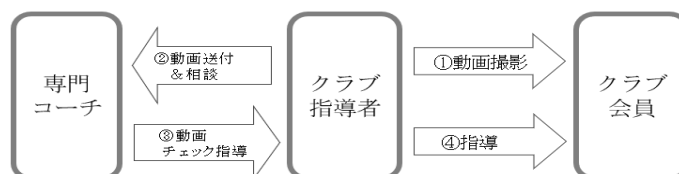
対面で指導が受けられる指導者派遣事業に加え、令和元年度からはICTを活用した指導者派遣事業*も行っています。

※ICTを活用した指導者派遣事業

タブレットやスマートフォンを活用し、クラブ会員や指導者が競技の専門コーチ（知識や経験が豊富な元プロスポーツ選手やアスリート等）から動画添削によるフォーム指導や練習メニューの提案等を受けることができます。対面指導が難しい状況においても効率的にスキルの習得ができ、スポーツ活動に対する意識や競技力の向上、クラブに所属する指導員の指導サポート等を行うことができます。

○指導を受けられる種目：テニス・ソフトテニス・水泳・バドミントン・バスケットボール
（令和6年度） 卓球・野球・陸上競技・バレーボール

○イメージ：クラブの指導者を通じて専門のコーチがクラブ会員への指導を行います。



2 実績報告

指導者派遣事業は以下の8事業に計11人の指導者を派遣しました。なお、1事業は荒天のため中止となりました。

実施日	クラブ名	事業名	内容	対象	派遣指導者数	参加者数
6/22	神津島スポーツクラブ	神津島スポーツクラブ講演会	講演会	選手(小～高校生)、指導者、スポーツ関係者	中止	中止
9/18	NPO法人 志村スポーツクラブ・プリムラ	危機管理講習会	講習会	会員、スポーツ指導者、PTA等	1人	30人
10/14	SSKクラブ	少年サッカー教室	サッカー	小学生30名	2人	23人
11/13	SSKクラブ	サッカー教室	サッカー	小学生50名	2人	30人
1/12 2/2	港区総合型地域スポーツ ・文化クラブ高松	プロに学ぶバドミントンテクニック	バドミントン	小学生～大人	2人	37人 30人
2/11	NPO法人スポーツクラブ ホワイエ上石神井	少年少女サッカー教室	サッカー	小学生・保護者	2人	50人
2/17	NPO法人コミュニティネットSSC大泉 (ねりまSSC協議会)	子供の発育・発達に関する実技 研修会	実技・研修	練馬区内の クラブ関係者	1人	29人
2/22	烏山スポーツクラブユニオン (東京都地域スポーツクラブ協議会第2ブロック研究)	～クラブのSTORYを伝え合おう ～クラブ研修・情報交換会	講演会	第2ブロック内の クラブ関係者	1人	10人
合 計					11人	239人

ii 特別アドバイザー相談事業

本事業は、地域スポーツクラブの運営や設立に際して、専門家の意見を聞く必要が生じたときに、相談を希望する団体（区市町村を含む）からの申請を受け、相談内容に応じて、特別アドバイザー（専門家）が適切に対応することで、地域スポーツクラブ等の課題解決に寄与することを目的とし、実施しています。今年度の申請件数は1件でした。

実施日	クラブ名	相談内容(概要)	特別アドバイザー
10/18	東深沢スポーツ・文化クラブ	法人化に伴う会計処理等について	公認会計士・税理士

iii 支援アドバイザー相談事業

本事業は、地域スポーツクラブの設立・育成・運営等の相談に支援担当が応じ、助言や情報提供等を行います。相談を希望する団体（区市町村を含みます。）からの申請を受け、相談内容に応じて、電話、メール、訪問等の対応を行います。今年度の申請件数は0件でした。

iv 講習会・研修会・連絡協議会

地域スポーツクラブの活動を支えるスタッフの養成や、安定したクラブ運営への支援、クラブ間の交流やクラブ活動への理解促進を図る目的で、研修会・講習会等を実施しました。

事業名	実施日	参加者数	事業内容
アシスタントマネジャー養成講習会	11/30 12/1	23 人	地域スポーツクラブの経営管理者として総合的なマネジメントを担うための必要な知識のうち、特に基礎的な知識を習得するための講義や演習を実施
第 1 回クラブ運営スタッフ等研修会	7/17	32 人 (現地 19、 オンライン 13)	テーマ 「オリンピックイヤーを盛り上げよう！ 地域スポーツイベント企画づくり」
第 2 回クラブ運営スタッフ等研修会	10/9	32 人 (現地 24、 オンライン 8)	テーマ 「令和 7 年度登録・認証制度の申請について」 「総合型地域スポーツクラブ東京都協議会の活動について」
第 3 回クラブ運営スタッフ等研修会	12/13	17 人 (現地 7、 オンライン 10)	テーマ 「SNS を活用した広報活動について」
第 4 回クラブ運営スタッフ等研修会	3/2	10 人 (現地 10)	テーマ 「これからの学校運動部活動に対する地域スポーツクラブの役割」
第 1 回地域スポーツクラブ連絡協議会	7/17	32 人 (現地 19、 オンライン 13)	地域スポーツクラブ支援事業に関する情報提供及び都内地域スポーツクラブ関係者間の情報交換会
第 2 回地域スポーツクラブ連絡協議会	2/12	37 人 (現地 16、 オンライン 21)	
合計		151 人	

「クラブ運営スタッフ等研修会」において、第 1 回「地域スポーツイベント企画づくり」では、地域の特色を活かしたイベントづくりについて、メディア等にも出演されている目白大学教授の岡星竜美氏にご講義いただきました。

第 2 回「登録・認証制度の申請について」では、申請に関する説明を行ったほか、総合型地域スポーツクラブ東京都協議会副幹事長の矢子達哉氏に、登録する利点等についてお話しいただき、クラブ間でも意見交換を行いました。

第 3 回「SNS を活用した広報活動について」では、広報媒体ごとの特徴や活用の仕方について、(公財) 日本非営利組織評価センター業務執行理事の山田泰久氏にわかりやすくご講義いただきました。

第 4 回「これからの学校部活動に対する地域スポーツクラブの役割」は、(公財) 日本スポーツ協会公認指導者資格の更新研修も兼ねた研修会として実施しました。学校部活動のニーズや今後地域スポーツクラブはどうしていったらよいのか等を日本体育大学助教の柴田紘希氏にご講義いただきました。また、研究討議では、クラブマネジャー（すぽてらす豊洲代表）の矢子達哉氏をファシリテーターとしてお招きし、クラブ間で意見交換をしながらじっくり考える時間を設けることが出来ました。

v 地域スポーツクラブ交流会

1 目的

本事業は、地域スポーツクラブが日頃実践している活動の発表や実施種目の体験コーナーを設け、地域スポーツクラブ間の交流及び一般都民へのクラブ活動の理解促進を図ることを目的としています。

2 企画・運営

地域スポーツクラブ交流会の企画・運営は、都内地域スポーツクラブ会員より構成された「企画運営委員」により行われます。今年度は下記7クラブの7名にご参加いただきました。

◆令和6年度企画運営委員参加クラブ

港 区：港区総合型地域スポーツ・文化クラブ六本木（スポーカル六本木）

江 東 区：一般社団法人 JOTO WARRIORS

大 田 区：NP0 法人地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット

江戸川区：一般社団法人MUCHU

立 川 市：立川市錦町体育会

三 鷹 市：三鷹市ベッセルスポーツクラブ

羽 村 市：一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぼ

※東京都内の地域スポーツクラブ一覧順

3 実施内容

今年度は下記のとおり交流会を開催しました。参加者の皆さんはアドバイスをもらいつつ、楽しみながら体験されていました。

また、同会場内の多目的室で実施した第4回クラブ運営スタッフ等研修会に参加したみなさまにも、地域スポーツクラブの活動を知っていただくため、参加していただきました。

◆スポーツ交流会（第20回地域スポーツクラブ交流会）

開 催 日 時：令和7年3月2日（日曜日）10時から15時まで

開 催 場 所：駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

参 加 対 象：都内地域スポーツクラブ会員・関係者、一般都民

参 加 人 数：446人

◆実施内容

○卓球大会

団体戦2部門（ガチ部門：5チーム参加、エンジョイ部門：10チーム参加）

○スポーツ体験

モルック、ボッチャ、ダーツ、パドルテニス、ドローン

- ・東深沢スポーツ・文化クラブ/新体操
- ・ようがコミュニティークラブ/チアリーディング
- ・しろやま倶楽部/HIP HOP DANCE
- ・一般社団法人渋谷ほんまちクラブ/フラダンス
- ・ようがコミュニティークラブ/エイサー演舞
- ・新宿チャレンジスポーツ文化クラブ/ダンス
- ・一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島/チアダンス

～ご協力いただいたみなさま～

- チラシ (表・裏)



東京都 地域スポーツクラブ

スポーツ交流会



2025年3月2日（日）

10:00～15:00

駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

（住 所）世田谷区駒沢公園1-1
（アクセス）東急田園都市線「駒沢大学」駅より徒歩15分



卓球大会
※事前予約制

ステージ
発表

どなたでも
参加できます！

みなごまのこ来場お待ちしております♪

ご来場の方には
オリジナルグッズの
プレゼントあります！

室内履きを
ご用意ください



クラちゃん



【主催】
公益財団法人東京都スポーツ協会

【企画・運営】
「地域スポーツクラブ交流会」企画運営委員会

【会場】
屋内球技場

地域スポーツクラブスポーツ交流会 2025年3月2日(日)10:00～15:00

当日プログラム

A AREA		B AREA	
卓球大会		開会式	
10:10 ~ 12:00		スポーツ体験	
		10:10 ~ 12:00	
		ステージ発表	
		12:10 ~ 13:20	
		卓球大会	
		13:30 ~ 14:45	
		スポーツ体験	
		13:30 ~ 14:45	
		表彰式・閉会式	
		15:00	

※時間15分短縮です。内容は変更になる場合があります。

会場フロア図(B1階) ☆受付…1階

Aエリア: 卓球大会

Bエリア: スポーツ体験
ステージ発表

アリーナ出入口

ステージ発表

12:10~12:20	新体操/東深沢スポーツ・文化クラブ
12:20~12:30	チアリーディング/ようかコミニティークラブ
12:30~12:40	HIP HOP DANCE/しろやま俱楽部
12:40~12:50	フラダンス/(一社)渋谷ほろまちクラブ
12:50~13:00	エイサー/演舞/ようかコミニティークラブ
13:00~13:10	k-pop他/新宿チレンジュズスポーツ文化クラブ
13:10~13:20	チアダンス/
(一社)中央区地域スポーツクラブ大立月島	

スポーツ体験

バドミントン	
アメリカ発祥のチオスの縮小版スポーツです。 短時間のラケット(15分)とバドミントンボールより柔らかいフェルト付きボールを使用します。	

モルツァ	
フィンランドで開発されたために、本を振るだけ、数字や書いてあるピンを倒すスポーツです。	

ボッチャ	
ヨーロッパ生まれで、道場横がいのために生まれたバレーボールの正式種目。 白いジャッキーボールを使い、赤いボールを近づけて点を競うという競技です。	

ドローン	
初めての方やお子様にも、ドローンを実際に飛ばして頂くことができます。どうぞお気軽に体験してみてください！	

ダーツ	
ダーツの投げ方は素人でもカウタン ちょっとしたコツさえわかればすぐに当たる！	

重要事項※

卓球大会

☆団体戦	gated 20チーム エッジ部門 10チーム
☆競技方式	5チーム/ブロックによるリーグ戦

※施設スポーツクラブサポートネット
おあなたのまちの
スポーツクラブを
探しまよう！

※施設スポーツクラブ交流会の
最新情報はこちら

公益財団法人
東京都スポーツ協会
03-6804-1472



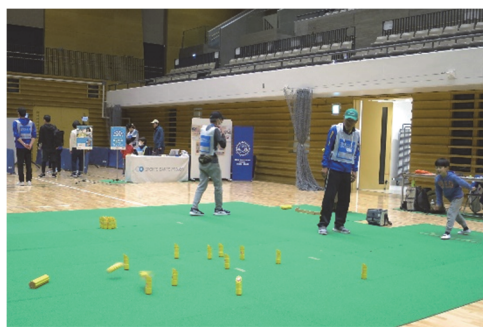
開会式



卓球大会（ガチ部門）



卓球大会（エンジョイ部門）



モルック



ボッチャ



ダーツ



バドミントン



ドローン



新体操/東深沢スポーツ・文化クラブ



チアリーディング/ようがコミュニティークラブ



HIP HOP DANCE/しろやま倶楽部



フラダンス/(一社)渋谷ほんまちクラブ



エイサー演舞/ようがコミュニティークラブ



k-pop 他/新宿チャレンジスポーツ文化クラブ



チアダンス/(一社) 中央区地域スポーツクラブ大江戸月島



チッキーチャレンジ/卓球



卓球大会/表彰式



集合写真

vi 情報提供事業（東京都地域スポーツクラブサポートネット）

東京都地域スポーツクラブサポートネットでは、実際に地域スポーツクラブの運営を行っている方に対し、東京都スポーツ協会で行われている事業の情報を提供するとともに、地域スポーツクラブについて詳しく知りたい方や、クラブに参加したい方に向けた都内クラブの情報提供を行いました。

研修会当日に参加できなかった方も情報が得られるよう、研修会の資料や動画を掲載するなど、多くの方にご活用いただきました。

<研修会・講習会のご案内ページ>

サポートネット
東京都地域スポーツクラブ

地域スポーツクラブとは？ 東京都の地域スポーツクラブ 東京都スポーツ協会とは？ 開催・募集情報 よくある質問

研修会・講習会のご案内

地域スポーツクラブの設立・普及・育成のため、各種指導者のための講習会や研修会を開催します。また、地域スポーツクラブ同士の情報共有や発展のため交流会や連絡会等も開催します。

※交流会に関してはこちらをご覧ください。

バックナンバー

2025年度 2024年度 2023年度

バックナンバー（東京都スポーツ文化事業団《東京都広域スポーツセンター》所管分）

2022年度 2021年度 2020年度 2019年度 2018年度 2017年度 2016年度

2015年度 2014年度 2013年度 2012年度

2025年度

講習会名	実施日時・会場	開催費
【5/28（水）開催】令和7年度 第1回地域スポーツクラブ連絡協議会のお知らせ	令和7年5月28日（水） 18:30～20:30 日本青年館ホテル 8階 カンファレンスルーム イエロー 【住所】〒160-0013 東京都新宿区西町4-1 【交通】都営大江戸線「国立競技場」駅A2乗出口徒歩10分 東京メトロ丸の内線「外苑前」駅徒歩5分	開催費17,750円（税込）
令和7年度東京都アシスタントマネージャー講習会	令和7年6月13日（金）	60,000円（税込）

<クラブ検索ページ>

サポートネット
東京都地域スポーツクラブ

地域スポーツクラブとは？ 東京都の地域スポーツクラブ 東京都スポーツ協会とは？ 開催・募集情報 よくある質問

地域スポーツクラブとは 地域スポーツクラブを作るには 運営のポイント 地域スポーツクラブ関連の資格 地域スポーツクラブの法人化

サポートネット > 東京都の地域スポーツクラブ > 都内地域スポーツクラブ検索

都内地域スポーツクラブ検索

キーワードから探す

地図から探す

エリア・活動種目から探す

ご希望の条件を選択して、地域スポーツクラブの検索ができます。

エリア

Ⅱ 地域スポーツクラブ都民参加事業及びシニアスポーツ振興事業

都民参加事業は、都民のスポーツ参加を促進し、地域におけるスポーツ参加機運の醸成を図ることを目的としています。

シニアスポーツ振興事業は、高齢者のスポーツ実施率の向上を図り、健康の維持・増進に寄与することを目的としています。

今年度は以下のとおり、都内地域スポーツクラブが実施した事業を支援しました。

1 都民参加事業

	クラブ名	事業名	実施日	参加者数 (人)	非クラブ 会員 (人)
1	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ六本木	六本木クラス	4/15～2/25	97	34
		ボールであそぼ！	4/14～2/28	109	70
2	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ高松	サッカー&フットサル	6/19～2/16	79	75
3	新宿チャレンジスポーツ文化クラブ	パパとママもスポーツしよう！	2/24	194	135
4	NPO 法人ななすば	みんなで一緒にスポーツしよう！ スローエアロビクスとリアル野球盤	7/15～9/23	45	45
5	一般社団法人 JOTO WARRIORS	城東ウォーリアーズ フェスタ	7/13～11/2	177	74
6	すばてらす豊洲	スポーツ体験教室	10/4～1/31	10	10
7	NPO 法人スマイルかまた	ユニバーサルスポーツ体験会	5/18～1/13	67	67
		ユニバーサルスポーツ出前事業	8/3～2/25	318	317
8	NPO 法人ベアーズ	キッズ運動能力向上プロジェクト	4/20～2/15	7	7
9	東深沢スポーツ・文化クラブ	東深沢スポーツ・文化フェスティバル	11/17	1,500	1,100
10	ようがコミュニティークラブ	第21回ようが コミュニティーフェスティバル	11/3	800	500
11	総合型地域スポーツ・文化クラブ ちとふなコミュニティ	ちとコミュ スポーツフェスタ	10/14	347	289
12	クラブ 1 2 3 荻窪	モルック体験教室	7/20～2/22	130	10
13	NPO 法人地域総合型椎の美スポーツクラブ	みんなで参加！ 元気になるエクササイズ教室	11/22～2/28	16	16
		親子ふれあい防災スポーツフェスタ	10/13	28	27
14	特定非営利活動法人 れつど・しゃつふる	みる！する！支える！ スポーツを余すことなく楽しもう！	6/2～2/1	28	26
15	NPO 法人コミュニティネット SSC 大泉	平泳ぎ水泳教室&タンブリング教室	7/22～2/17	34	31
16	特定非営利活動法人 SSC 谷原アルファ	スキルアップスポーツ教室	5/25	36	18
		スポーツの日記念行事・スポーツ交流会	10/14～1/25	194	100
17	NPO 法人スポーツコミュニティー桜	さくらスポーツフェスタ 冬	1/26	160	154
		出前おもしろスポーツ体験会	7/25～2/19	214	214
18	NPO 法人総合型地域スポーツクラブ平和台	スポーツの日記念事業「秋のチャレスボまつり」	10/14	782	580
		バドミントン親睦交流大会	12/8	57	57
19	NPO 法人スポーツクラブホワイエ上石神井	日曜定例スポーツ事業	4/7～2/16	138	134
		ホワイエ親子ひろば	4/2～2/18	30	30
20	KIT クラブ 21	みんなでバドミントン	5/15～12/25	42	9
21	SSK クラブ	ボッチャ体験会	12/7～1/26	79	70
		バレーボール大会	11/10	118	110
22	特定非営利活動法人こやのエンジョイクラブ	スポーツフェスタ 2024	10/19・20	540	360

	クラブ名	事業名	実施日	参加者数 (人)	非クラブ 会員 (人)
23	一般社団法人 MUCHU	障害者と健常者の共生社会を目指すスポーツ教室	12/21～3/1	6	6
24	NPO 法人はちきた SC	森のスポーツ広場	9/8～2/23	64	56
25	第三地区スポーツクラブ運営委員会	第三地区スポーツクラブ大運動会	10/13	1,120	1,040
26	三鷹市ベッセルスポーツクラブ	創立40周年記念第17回ベッセルフェスト	6/23	206	125
		創立40周年記念第17回ベッセルフェスト ～朝日健太郎さんと ソフトバレーボールを楽しもう～	10/20	118	87
27	一般社団法人 スカイリミットスポーツ三鷹	スカイリミットスポーツ三鷹体験会 in SUBARU 総合スポーツセンター	5/12～10/14	210	210
28	府中市総合型 f スポーツクラブ	グラウンド・ゴルフ交流大会	11/27	136	74
29	平山台文化スポーツクラブ	ボッチャ体験会	11/17	23	14
30	こくぶんじ地域クラブ	モルック交流大会	6/22～9/16	53	45
		ボッチャ交流大会	7/13～10/15	96	84
31	一般社団法人総合地域スポーツクラブ清瀬キラリ	ウォーキングサッカー体験会	4/7～2/2	328	219
32	よってかっしえクラブ	第6回むさむらクッブオープン	5/18	60	8
33	一般社団法人あきる野総合スポーツクラブ	ボッチャ普及事業	7/23～2/24	174	148
34	西東京市総合地域スポーツクラブ にしはらスポーツクラブ	第20回記念・小学生バドミントン大会	12/15	78	48
			合計 ※参加者数は実数	9,048	6,833

2 シニアスポーツ振興事業

	クラブ名	事業名	実施日	参加者数 (人)	内 60 歳以上 (人)
1	一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島	シニア健康運動教室	7/4～7/25	7	7
2	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ六本木	ヘルシーアップスポーツ教室	4/14～2/23	48	34
3	磯南スポーツクラブ	れきスポウォーク	4/7～1/5	30	27
4	NPO 法人ななすぼ	スポンジテニス体験会	7/14～8/4	24	24
5	一般社団法人 JOTO WARRIORS	バドミントンシニア体験会	6/15	18	17
6	特定非営利活動法人大田ウェルネスクラブ	シェイプアップエクササイズ 一骨盤矯正と筋トレーニング	4/2～2/25	5	4
7	NPO 法人スマイルかまた	街中ウォーキング	9/15～2/9	38	36
8	東深沢スポーツ・文化クラブ	「ラジオ体操講習会」シニアのための講習と実技指導	9/17	56	43
9	鳥山スポーツクラブユニオン	明るいシニアの健康スポーツ教室	9/8～9/29	6	6
10	特定非営利活動法人地域総合型 椎の美スポーツクラブ	生き生きシニアのソフトバレーボール教室	4/10～2/26	17	17
11	特定非営利活動法人 れっど・しゃっふる	シニアのちょこっと卓球	12/21	16	16
12	NPO 法人総合型地域スポーツクラブ コミュニティネット SSC 大泉	チャレンジシニアスポーツ教室	7/2～2/24	41	41
13	特定非営利活動法人 SSC 谷原アルファ	シニア元気アップ教室	4/1～2/28	11	10
14	NPO 法人スポーツコミュニティ桜	シニアこそ貯筋と脳トレ	4/5～9/27	17	17
		ノルディックウォーキング・ボールウォーキング	4/13～2/8	54	47
		出前おもしろシニアスポーツ体験会	11/8～2/27	29	29
15	NPO 法人総合型地域スポーツクラブ平和台	ストレッチ&バランスボールクラブ	4/3～12/18	22	15
16	NPO 法人スポーツクラブホワイエ上石神井	はつらつシニアスポーツ交流事業	4/6～2/25	190	176
17	KIT クラブ 21	みんなで健康体操	5/11～10/26	23	23
18	SSK クラブ	ウォーキング教室	5/18～12/8	32	32
19	特定非営利活動法人こやのエンジョイクラブ	イベント「シニアの健康維持・増進のための講習会」 スポーツフェスタ 2024	1/29	28	28
20	一般社団法人 オール水元スポーツクラブ	ふれあいグラウンド・ゴルフ大会	10/16	150	150
21	NPO 法人はちきた SC	のんびりヨガ	9/5～2/27	20	16
22	第三地区スポーツクラブ運営委員会	グラウンドゴルフ大会	11/3	88	88
23	三鷹ウエストスポーツクラブ	ソフトテニスシニア講習会	6/16～10/1	25	19
24	一般社団法人 スカイリミットスポーツ三鷹	スカイリミットスポーツ三鷹 シニア向け健康教室	2/9	21	21
25	府中市総合型 f スポーツクラブ	シニア卓球交流大会	2/23	70	70
26	NPO 法人アスレチッククラブ町田 (町田ゼルビアスポーツ クラブ)	ゼルビア探健隊	4/9～2/25	10	10
27	平山台文化スポーツクラブ	健康寿命を伸ばそう！シニアのための運動法講習会	10/8	24	24
28	一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぼ	はむすぼフォークダンス (楽しく踊って健康づくり)	10/23～11/20	11	11
			合計	1,131	1,058

Ⅲ 登録・認証制度の運用

i 登録クラブ

令和6年度は 43 クラブが登録認定されました。令和6年度の登録クラブ一覧は以下のとおりです。

No.	区市町村名	クラブ名
1	中央区	一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島
2	港区	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ六本木
3	新宿区	新宿チャレンジスポーツ文化クラブ
4	墨田区	NPO法人スポーツドアあずま
5	江東区	東陽・木場地域スポーツクラブ
6		海の森総合型地域スポーツクラブ
7		一般社団法人JOTO WARRIORS
8	目黒区	NPO法人スポルテ目黒
9	大田区	特定非営利活動法人地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット
10		一般社団法人田園調布グリーンコミュニティ
11		NPO法人大田ウェルネスクラブ
12		一般社団法人Sports Design Lab
13	世田谷区	東深沢スポーツ・文化クラブ
14		烏山スポーツクラブユニオン
15		しろやま倶楽部
16	渋谷区	一般社団法人渋谷ほんまちクラブ
17	杉並区	クラブ123荻窪
18	豊島区	特定非営利活動法人地域総合型椎の美スポーツクラブ
19	北区	特定非営利活動法人れっど★しゃっふる
20	荒川区	南千住スポーツクラブ
21	板橋区	特定非営利活動法人志村スポーツクラブ・プリムラ
22	練馬区	特定非営利活動法人コミュニティネットSSC大泉
23		NPO法人SSC谷原アルファ
24		NPO法人光が丘総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ
25		特定非営利活動法人スポーツクラブホワイエ上石神井
26	足立区	KITクラブ21
27	葛飾区	特定非営利活動法人こやのエンジョイくらぶ
28		一般社団法人オール水元スポーツクラブ
29	江戸川区	一般社団法人清新JAC
30		一般社団法人東京23スポーツクラブ
31		一般社団法人MUCHU
32		一般社団法人城東スポーツクラブ
33	八王子市	八王子市陶鎔地区スポーツクラブ
34	三鷹市	三鷹市ベッセルスポーツクラブ
35		一般社団法人スカイリミットスポーツ三鷹
36	調布市	特定非営利活動法人調和SHC倶楽部
37	町田市	NPO法人アスレチッククラブ町田（町田ゼルビアスポーツクラブ）
38		特定非営利活動法人スポーツ塾J.VIC
39	日野市	一般社団法人平山台文化スポーツクラブ
40	国立市	くにたちエール
41	東大和市	地域スポーツクラブ はびねすまいる東大和
42	羽村市	一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぼ
43	西東京市	西東京市総合型地域スポーツクラブ・にしはらスポーツクラブ

ii 総合型地域スポーツクラブ東京都協議会

総合型地域スポーツクラブ東京都協議会では、登録・認証制度について都内地域スポーツクラブの活動を支援するほか、クラブ間の情報交換や交流を図り、クラブに必要な情報を適宜共有しています。

今年度の主要な取組は以下のとおりです。

5 月	S C 全国ネットワーク総会（副幹事長兼全国代表委員）※ほか 2 月
7 月	東京都協議会代表委員ミーティング開催（ブロック代表委員）
8 月	学校部活動の地域連携・地域移行に関する連絡協議会委員（副幹事長兼全国代表委員） ※ほか 11 月及び 2 月
9 月	部活動の地域連携・移行シンポジウムのパネラー、分科会（副幹事長兼全国代表委員）
10 月	登録・認証制度等に関する意見交換（クラブ運営スタッフ等研修会）
11 月	関東ブロッククラブネットワークアクション（副幹事長兼全国代表委員）
2 月	東京都協議会ブロック研修会開催（区部第 2 ブロック）
3 月	スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブ意見交換会（副幹事長兼全国代表委員）
	東京都協議会総会開催

IV 学校部活動の地域連携・地域移行調整事業

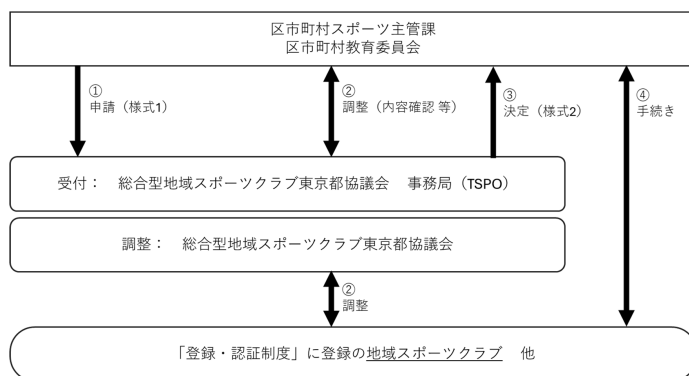
東京都スポーツ協会では、学校部活動の地域連携・地域移行の受け皿の1つとして考えられている「地域スポーツクラブ」の持続可能な運営体制を構築し、社会的な仕組みとして地域社会に定着させることを目的に、その育成支援を行っております。

1 総合型地域スポーツクラブ東京都協議会による指導者紹介

今年度より、総合型地域スポーツクラブ東京都協議会（以下、都協議会という。）と協力し、「登録・認証制度」に登録している都内の地域スポーツクラブ等から学校部活動の指導者を紹介する事業を開始しました。今年度の申請件数は0件でした。

【指導者紹介フロー図】

- ①区市町村のスポーツ主管課及び教育委員会から、ご相談や申請を当協会で受け付けます。
- ②都協議会は登録している地域スポーツクラブ等と調整を行います。
- ③結果について、当協会より区市町村に報告します。
- ④手続きについては、区市町村と地域スポーツクラブ等で行います。



2 学校部活動の地域連携・地域移行に関する会議等への参加

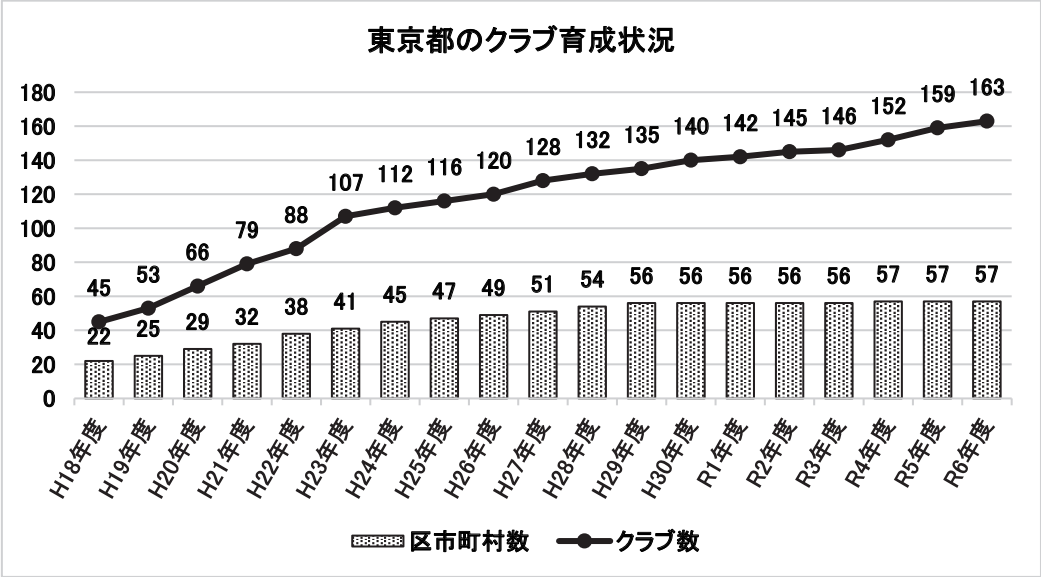
総合型地域スポーツクラブ東京都協議会による指導者紹介の仕組みについて、地域スポーツクラブサポートネットにおいて案内を開始するとともに、東京都教育庁の主催する「部活動検討委員会」及び「連絡協議会」に出席し、情報を共有しました。

V 令和6年度東京都における地域スポーツクラブ活動状況報告

(「令和6年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査(スポーツ庁)」東京都回答より)

1 調査の概要

- (1) 目的 東京都において創設された地域スポーツクラブの活動内容、課題等の現状を把握し、今後の地域スポーツクラブの育成推進のための基礎資料とする。
- (2) 対象 東京都内の創設済み地域スポーツクラブ
- (3) 実施期間 令和6年11月27日～令和6年12月23日
- (4) 実施方法 各区市町村スポーツ主管課を通じて、地域スポーツクラブに対してインターネットによるアンケート調査を実施した。
- (5) 調査票回収状況 配布数 163部 回収数 106部 回収率 65.0%
- (6) 東京都地域スポーツクラブ設立数について(令和7年3月27日現在)



(7) 調査結果の概略

項目	活動状況		備考(令和6年度)
	令和5年度	令和6年度	
会員数	213人※'	⇒ 213人※'	構成は小学生(32.3%)が最も多く、次いで60～69歳(13.9%)、年齢不明(12.1%)となっていた。調査時の都内総会員数※'は、およそ34,719人であった。
月会費	1,000円※'	⇒ 1,000円※'	全体の85.0%のクラブが会費を徴収しており、クラブごとで一人あたりの会費の額に差がみられた。(一人当たりの負担 最安値:6円、最高値:15,000円)(平均値は2,324.4円)
クラブマネジャーの配置	56クラブに配置	⇒ 59クラブに配置	常勤が40.2%、非常勤が59.8%であった。
予算規模	338万円※'	⇒ 345万円※'	1,000万円以上が27.9%、100万円未満が16.3%と予算規模に差がみられた。
自己財源率	約72.3%※'	⇒ 約73.6%※'	「91～100%」が41.7%、「71～90%」が26.2%、「51～70%」が11.9%となっていた。(※自己財源率={会費+事業費+委託費}/全体収入)
主な活動拠点	学校体育施設	⇒ 学校体育施設	主な活動拠点は学校体育施設54.6%、公共スポーツ施設37.1%、自己所有施設2.1%、休校・廃校施設1.0%、民間スポーツ施設1.0%となっている。

※1 会員数、月会費、予算規模は中央値、自己財源率は平均値を示している。
※2 都内総会員数は、会員数中央値に調査時クラブ数(163クラブ)を乗じた数とした。

2 調査結果 I の報告

※グラフ内の n は、各質問項目への総回答数を示す。

※回答結果（百分率）は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までの結果を示している。

そのため、百分率の合計が 100%にならないことがある。

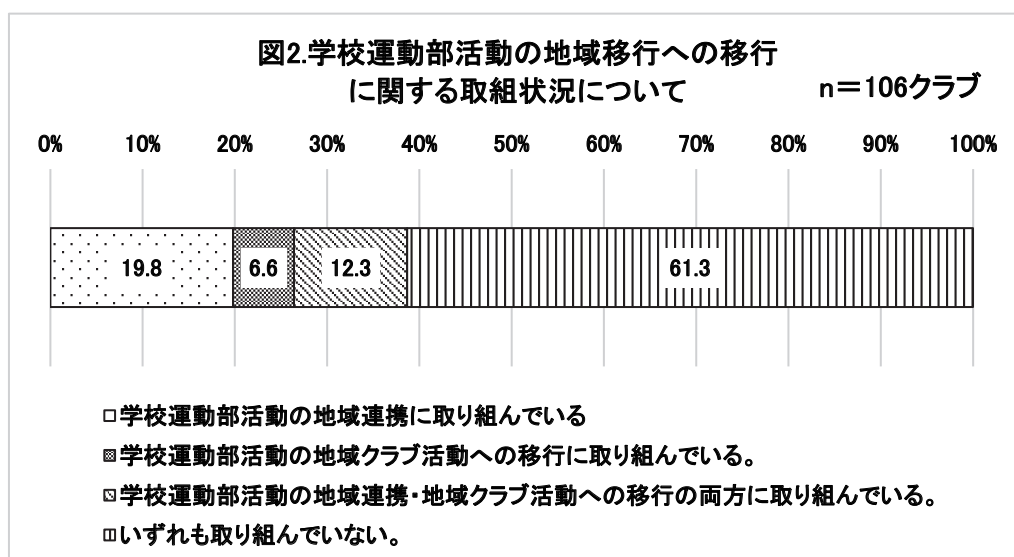
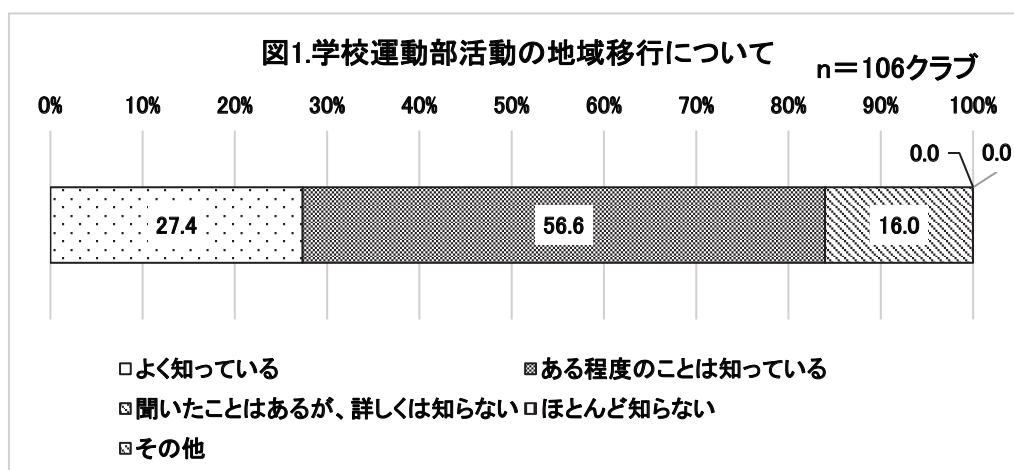
※昨年度同一の調査もしくは類似した調査が行われていた場合には、昨年度の結果も付記している。

（1）学校運動部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行（地域移行）について

① 学校運動部活動の地域移行に関する認知・取り組みの現状

学校運動部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行（地域移行）について、「よく知っている」と回答したクラブは 27.4%、「ある程度のことは知っている」クラブは 56.6%であり、合わせて全体の 84.0%を占めていた。一方、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」クラブは 16.0%、「ほとんど知らない」クラブは 0.0%で合わせて全体の 16.0%となっていた（図 1）。

クラブとして学校運動部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に関する取組状況について、「学校運動部活動の地域連携に取り組んでいる」と回答したクラブが 19.8%、「学校運動部活動の地域クラブ活動への移行に取り組んでいる」クラブが 6.6%、「学校運動部活動の地域連携・地域クラブへの移行の両方に取り組んでいる」クラブが 12.3%であった。一方で、「いずれも取り組んでいない」クラブは 61.3%であった（図 2）。



② 地域クラブ活動における運営団体・実施主体の担当状況および将来的な可能性

休日の学校運動部活動から移行する地域クラブ活動の運営団体を担うことについて、「現在担っている」クラブは10.6%であった。また、「今後担う予定である」クラブは1.9%、「担いたいと考えている」クラブは38.5%であり、合わせて全体の40.4%を占めていた。一方、「担うことは考えていない」クラブは33.7%であり、「その他」が15.4%であった（図3）。「その他」の具体的な内容としては「状況を見守っている」や「行政の方針が決まっていない」などの回答が挙げられた。さらに、「今後担う予定である」と回答したクラブにその予定時期を尋ねたところ、「2024年度」と「2025年度」との回答を得た。

休日の学校運動部活動から移行する地域クラブ活動の実施主体を担うことについて、「現在担っている」クラブは8.5%であった。また、「今後担う予定である」クラブは1.9%、「担いたいと考えている」クラブは35.8%であり、合わせて全体の37.7%を占めていた。一方、「担うことは考えていない」クラブは40.6%、「その他」が13.2%であった（図4）。「その他」の具体的な内容としては「検討中」や「担うことを想定していたが、地域行政がどのような方針をもっているかによるし、クラブにマネジメントする体力（財源）がない」などの回答が挙げられた。さらに、「今後担う予定である」と回答したクラブにその予定時期を尋ねたところ、「2024年度」と「2025年度」との回答を得た。

平日の学校運動部活動から移行する地域クラブ活動の運営団体を担うことについて、「現在担っている」クラブは10.5%であった。また、「今後担う予定である」クラブは0.0%、「担いたいと考えている」クラブは41.9%であり、合わせて全体の41.9%を占めていた。一方、「担うことは考えていない」クラブは38.1%であり、「その他」が9.5%であった（図5）。「その他」の具体的な内容としては、「クラブ内で未検討」や「行政より説明を受けている最中である」などの回答が挙げられた。

平日の学校運動部活動から移行する地域クラブ活動の実施主体を担うことについて、「現在担っている」クラブは9.5%であった。また、「今後担う予定である」クラブは0.0%、「担いたいと考えている」クラブは39.0%であり、合わせて全体の39.0%を占めていた。一方、「担うことは考えていない」クラブは41.0%、「その他」が10.5%であった（図6）。「その他」の具体的な内容としては、「平日の指導者の確保や時間等で難しいと考えている。」や「未定」などの回答が挙げられた。

「(地域クラブ活動の運営団体・実施主体を)現在担っている」と回答したクラブが行っている具体的な内容については、「指導者の質を確保し、適切な指導を行うことができるよう、体制を整えている」が80.0%と最も高く、続いて「参加者のニーズ等を把握し、活動へ反映する仕組みや体制を整えている」、「行政や学校と連携して取り組んでいる」が73.3%であった（図7）。

また、「(地域クラブ活動の運営団体・実施主体を)担うことは考えていない」と回答したクラブにその理由を尋ねた。結果、「指導者が確保できないため」が79.4%と最も高く、続いて「事務局員等が確保できないため」が61.8%、「行政から具体的な相談・依頼等がないため」が50.0%であった（図8）。

総合型地域スポーツクラブが地域クラブ活動の運営団体・実施主体となる場合の課題では、「指導者の確保」が95.7%と最も高く、続いて「行政や学校との連携体制」が80.4%、「保護者・生徒の理解」が70.7%であった（図9）。「その他」の具体的な内容としては、「大会組織との連携」や「行政が地域スポーツクラブに対して無関心なこと」などの回答が挙げられた。

図3.休日の地域クラブ活動の運営団体を担うことについて n=104クラブ

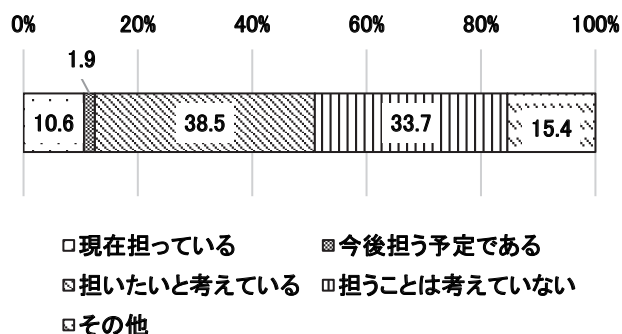


図4.休日の地域クラブ活動の実施主体を担うことについて n=106クラブ

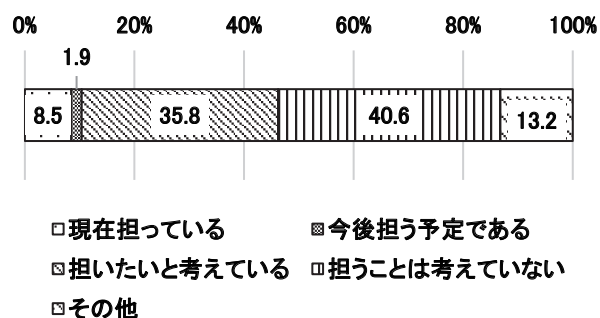


図5.平日の地域クラブ活動の運営団体を担うことについて n=105クラブ

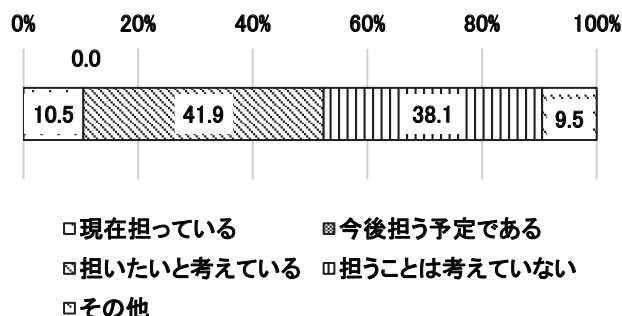


図6.平日の地域クラブ活動の実施主体を担うことについて n=105クラブ

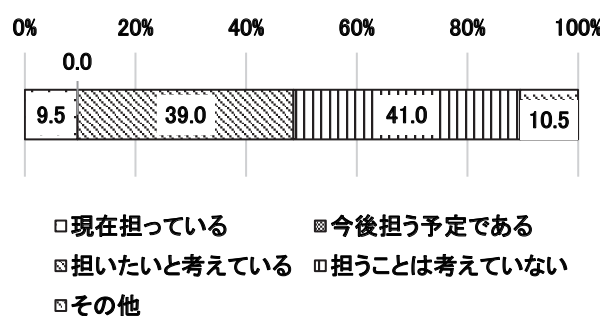


図7.現在担っている地域クラブ活動の運営団体・実施主体として行っている内容 (複数回答) n=15クラブ

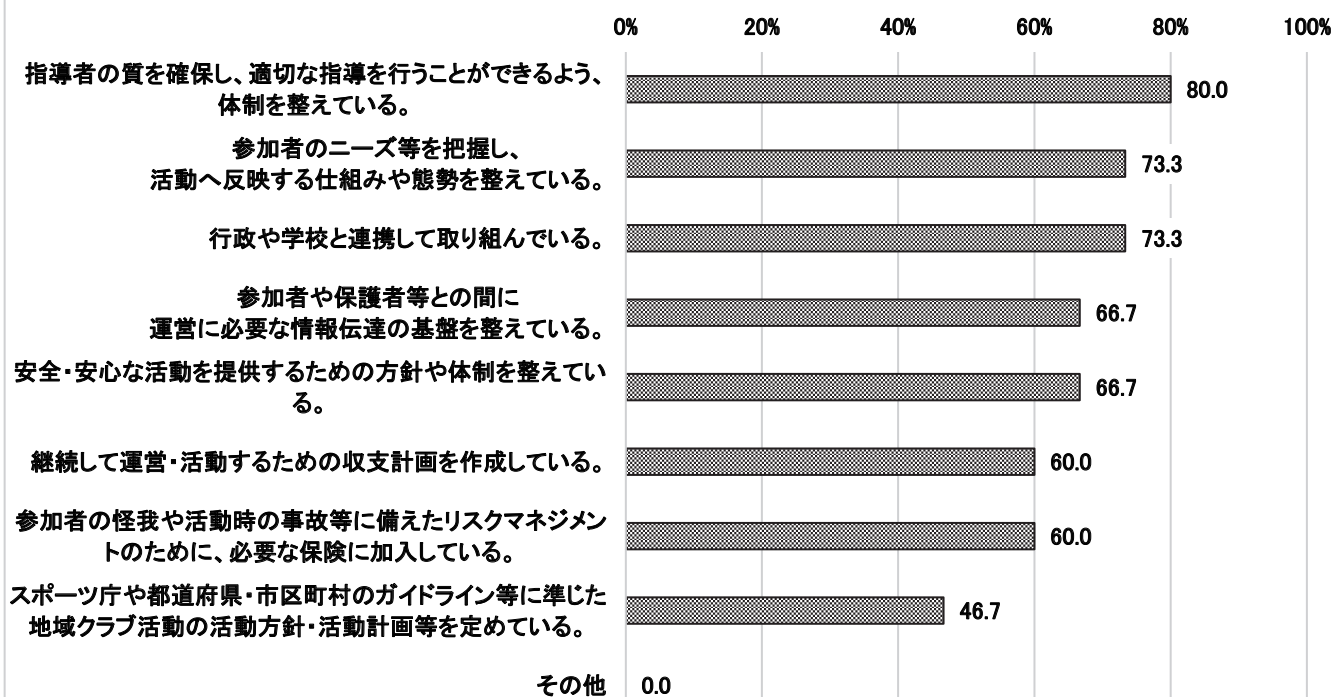


図8.地域クラブ活動の運営団体・実施主体を担うことを考えていない理由
(複数回答)

n=34クラブ

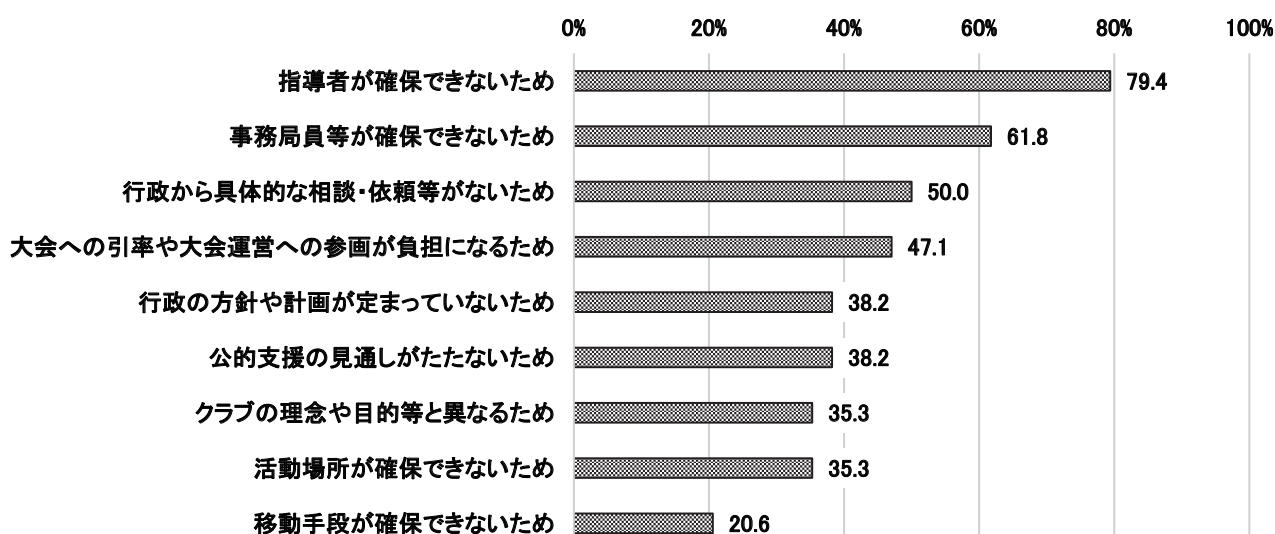
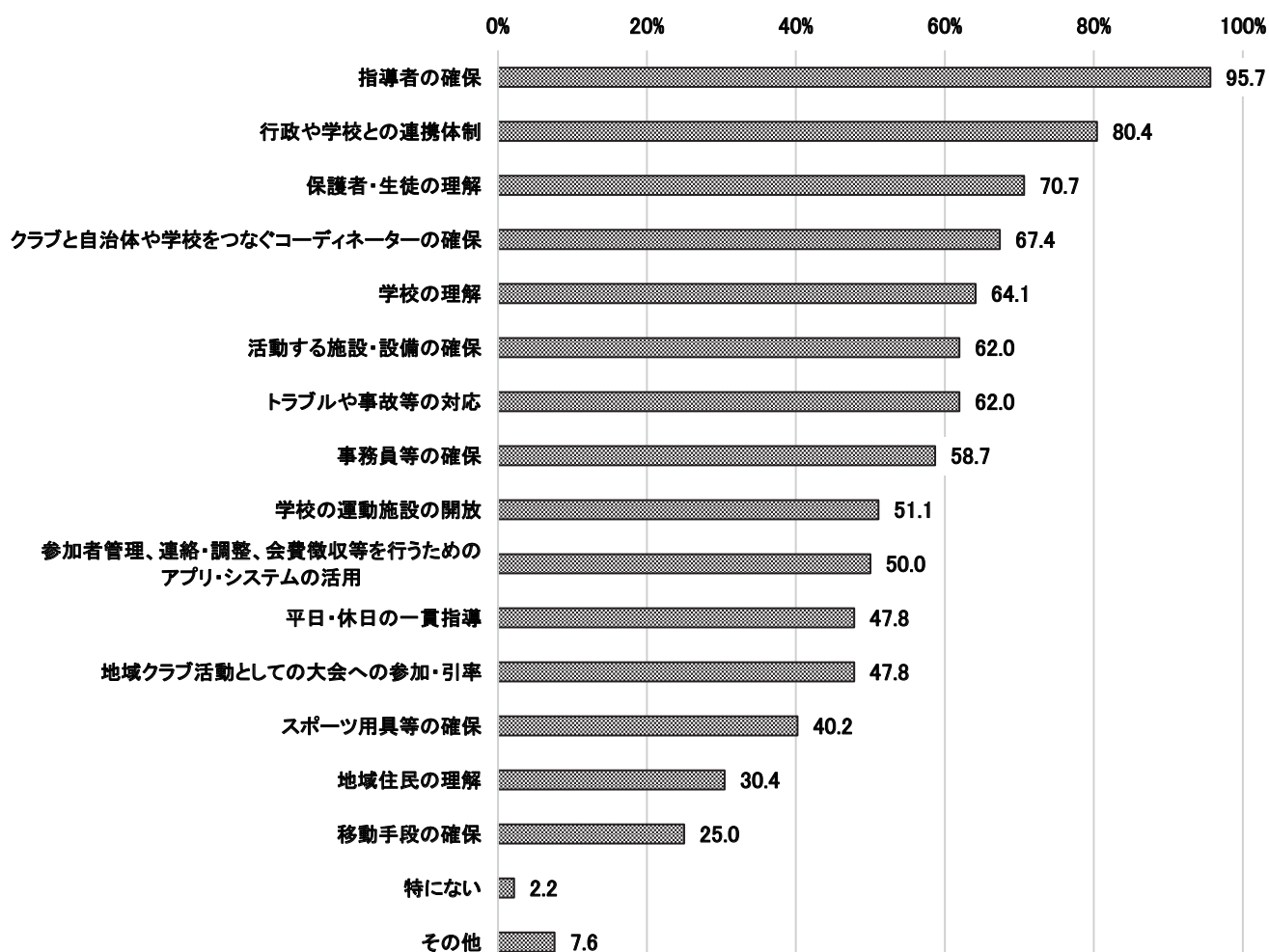


図9.総合型クラブが地域クラブ活動の運営団体・実施主体となる場合の課題
(複数回答)

n=92クラブ

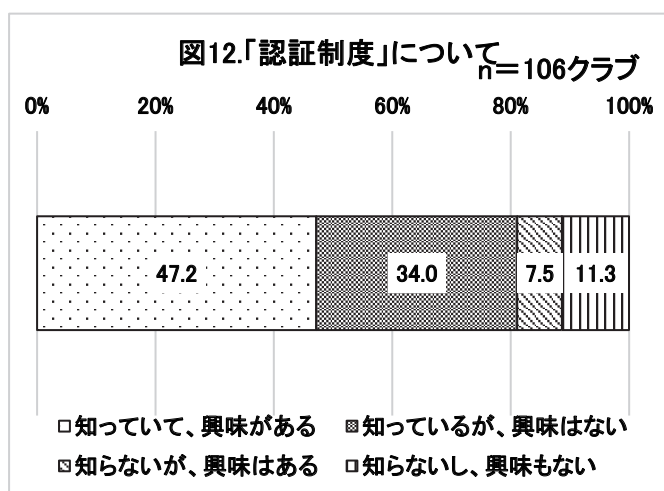
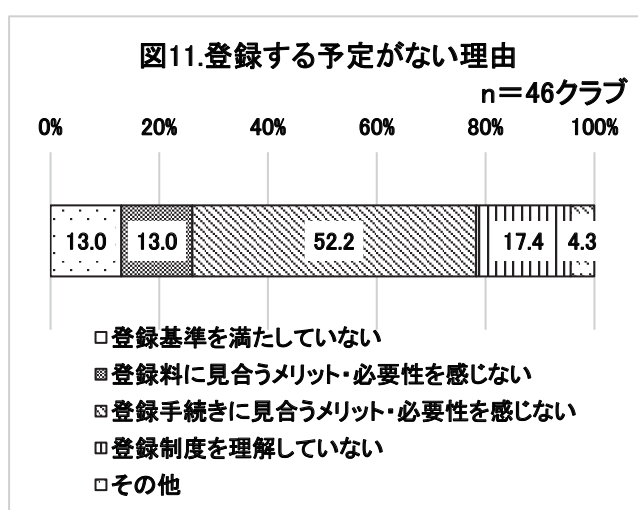
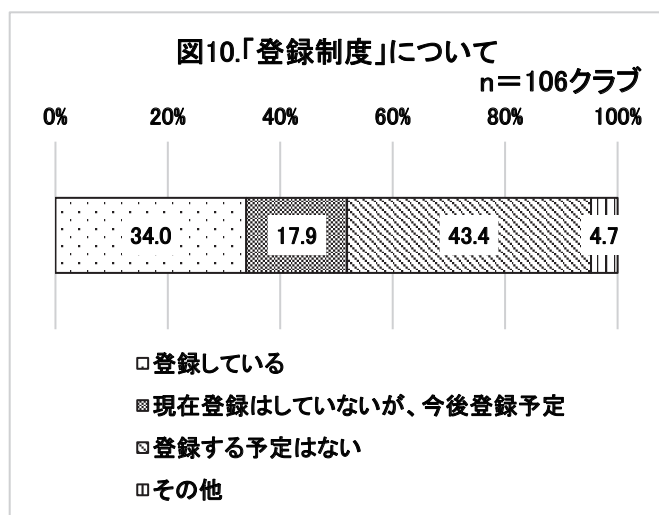


（２）総合型地域スポーツクラブ「登録・認証制度」について

総合型地域スポーツクラブ「登録制度」について、「登録している」と回答したクラブは 34.0%（令和 5 年度（以下 R5）は「登録済」が 35.9%）、「現在登録していないが、今後登録予定」のクラブは 17.9%（R5 は 19.6%）であった。一方、「登録する予定はない」と回答したクラブは 43.4%（R5 は 41.3%）、「その他」と回答したクラブが 4.7%（R5 は 3.3%）であった（図 10）。「その他」の具体的な内容として「昨年度は登録していたが、メリットを感じられなかったので、今年度は登録しない」や「現在登録しているが、今後は行わない」（回答ママ）などの回答が挙げられた。

また、「登録する予定はない」と回答したクラブに対して、その理由を尋ねたところ、「登録手続きに見合うメリット・必要性を感じない」クラブが 52.2%と最も多く、続いて「登録制度を理解していない」が 17.4%（R5 は 23.7%）、「登録基準を満たしていない」（R5 は 18.4%）および「登録料に見合うメリット・必要性を感じない」が 13.0%、「その他」が 4.3%となった（図 11）。なお、R5 年度の調査においては、「メリット・必要性を感じない」が 55.3%であった。また、「その他」の具体的な内容として「課題が多い」との回答が挙げられた。

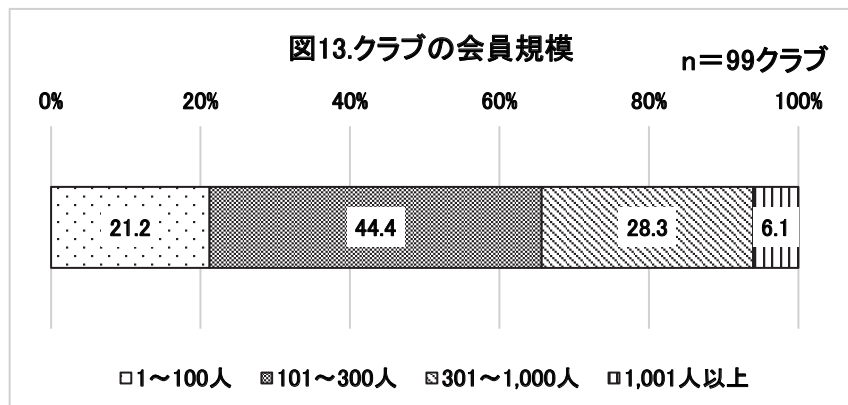
「認証制度」については、「知っていて、興味がある」が 47.2%と最も多く、続いて「知っているが、興味はない」が 34.0%、「知らないが、興味はある」が 11.3%、「知らないし、興味もない」が 7.5%であった（図 12）。



3 調査結果Ⅱの報告

※Ⅱの質問項目は、令和6(2024)年7月1日現在の状況について、回答を求めた。

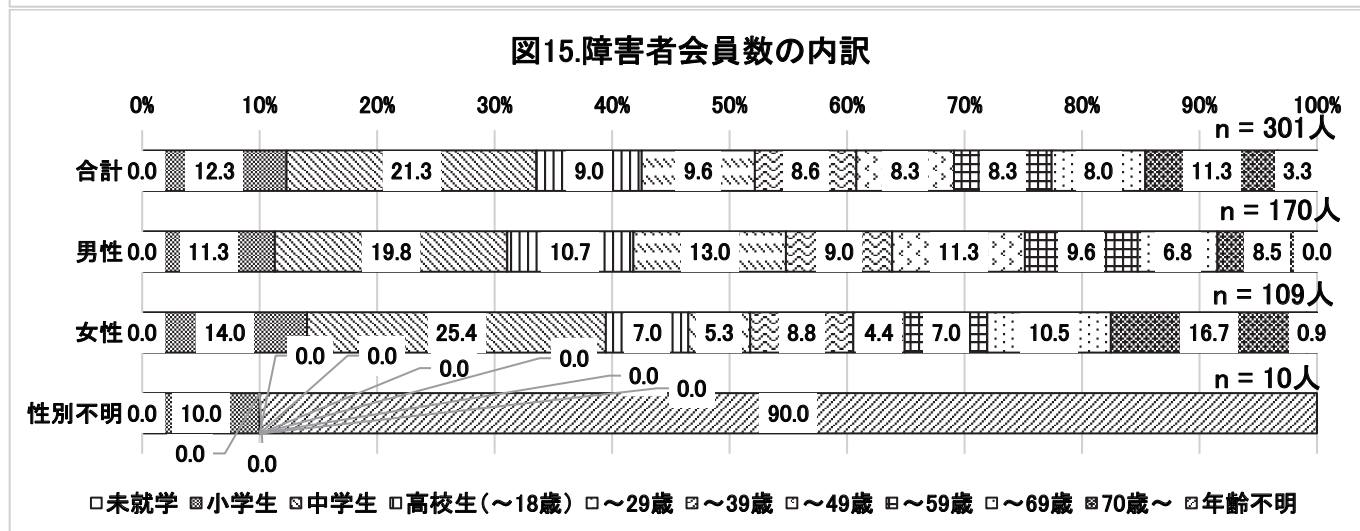
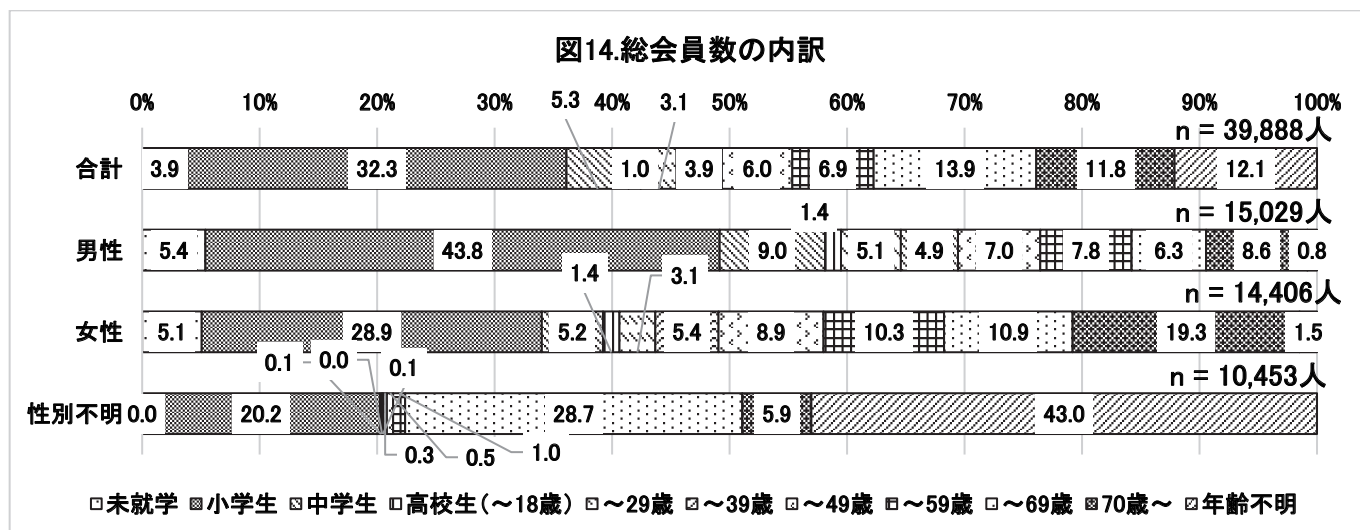
(1) クラブの会員規模



会員規模別のクラブの割合は、「1～100人」規模のクラブが21.2% (R5は25.7%)、「101～300人」規模のクラブが44.4% (R5は40.5%)、「301～1,000人」規模のクラブが28.3% (R5は28.4%)、「1,001人以上」規模のクラブが6.1% (R5は5.4%) となっており、会員数は1クラブあたり約213人 (中央値) となっていた (図13)。

総会員数の内訳は、「小学生」の会員が最も割合が高く全体の32.3% (R5は31.3%) であった。続いて「60～69歳」が13.9% (R5は5.8%)、「年齢不明」が12.1% (R5は23.3%)、「70歳～」が11.8% (R5は10.7%)、「50～59歳」が6.9% (R5は6.6%) 等となっていた (図14)。

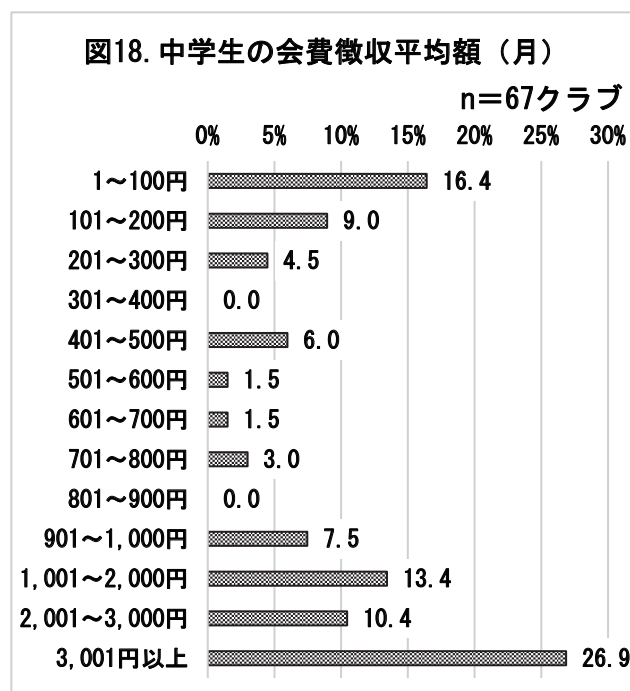
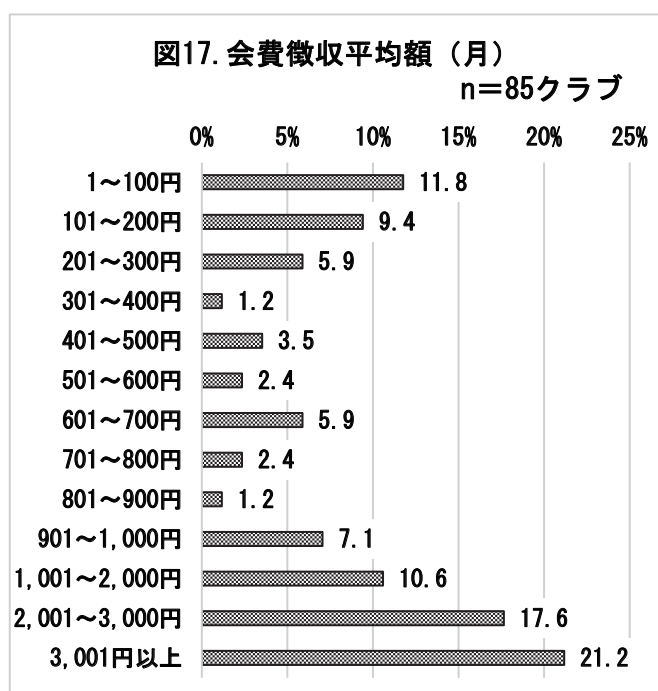
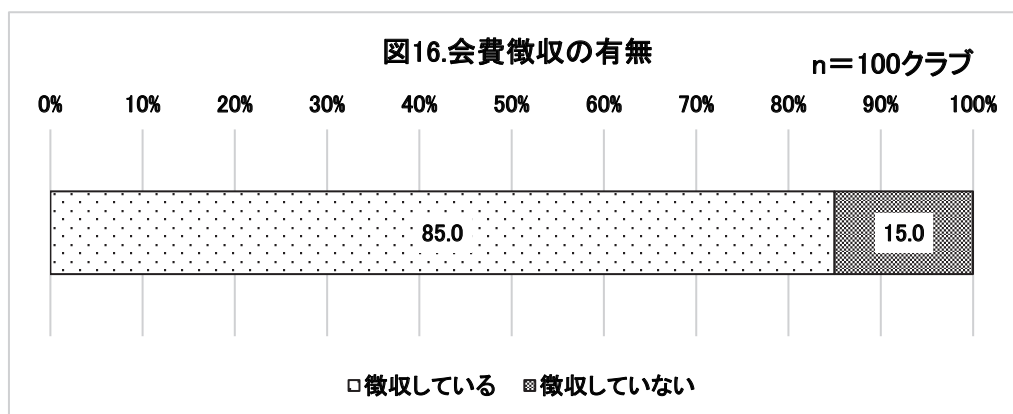
また、障害者会員数の内訳は、「中学生」の会員が最も割合が高く全体の21.3% (R5は5.2%) であり、続いて「小学生」の会員が12.3% (R5は12.4%) 等となっていた (図15)。



（２）クラブ会費

クラブの会費については、「徴収している」が 85.0%・85 クラブ（R5 は 86.7%・78 クラブ）となっていた（図 16）。「徴収している」クラブにおける 1 クラブあたりの会費徴収額の中央値は、約 1,000 円/月（R5 は約 1,000 円/月）であった。また、徴収額別にみると、「3,001 円以上/月」が 21.2%（R5 は 17.8%）と最も多く、続いて「2,001～3,000 円/月」が 17.6%（R5 は 6.8%）等となっていた（図 17）。

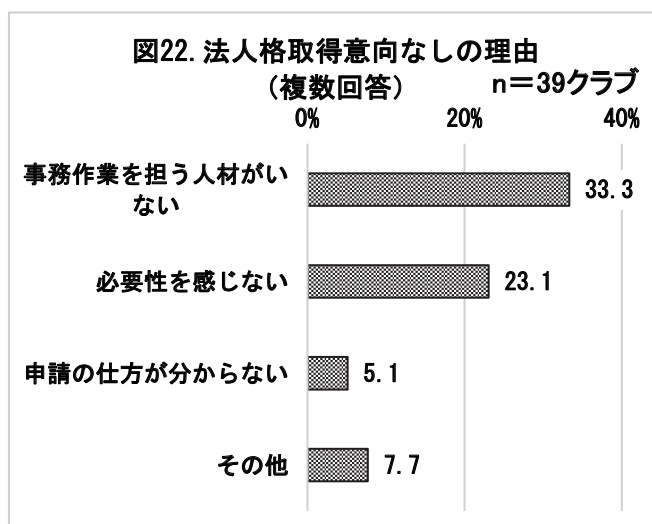
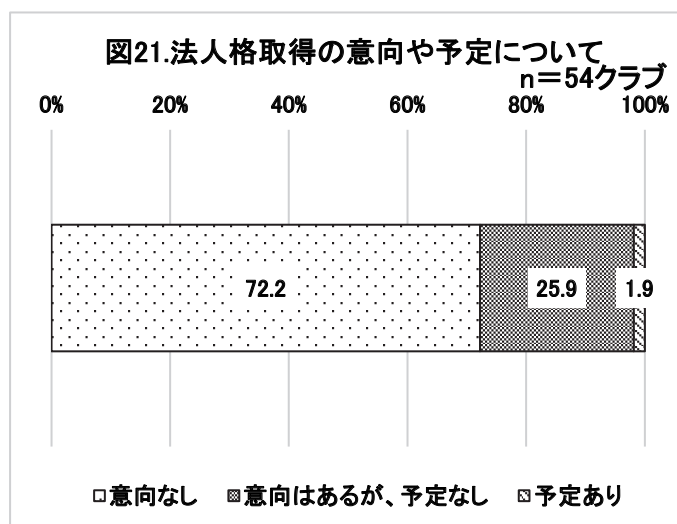
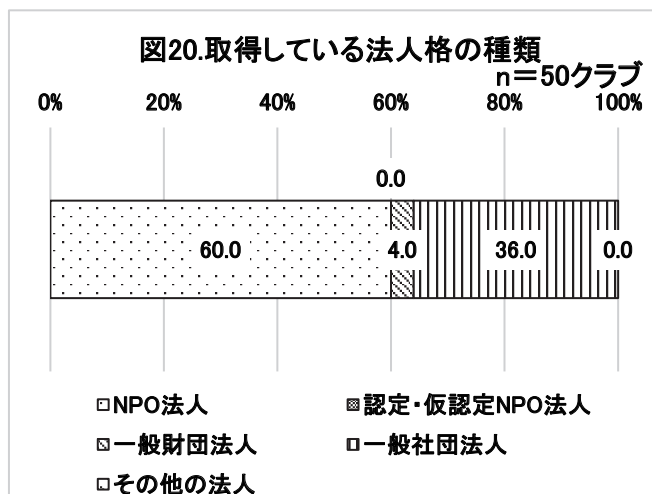
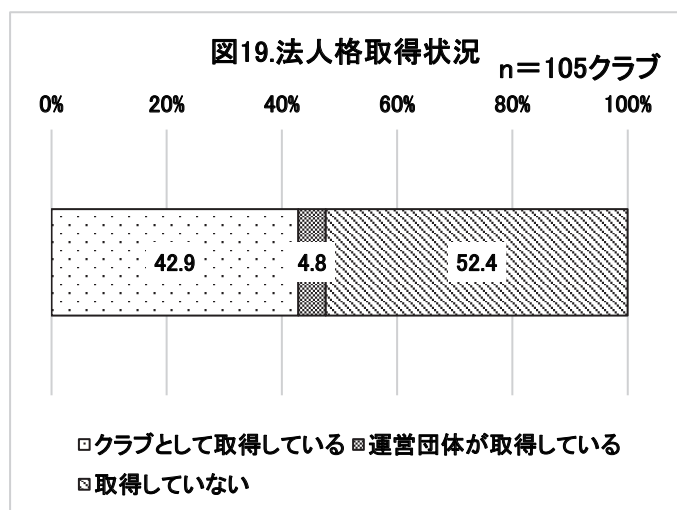
また、中学生からの徴収額をみると、1 クラブあたりの会費徴収額の中央値は、約 1,200 円/月（R5 は約 513 円/月）であった。また、徴収額別にみると、「3,001 円以上/月」が 26.9%（R5 は 18.2%）と最も多く、続いて「1～100 円/月」が 16.4%（R5 は 19.7%）となっていた（図 18）。



(3) 法人格取得

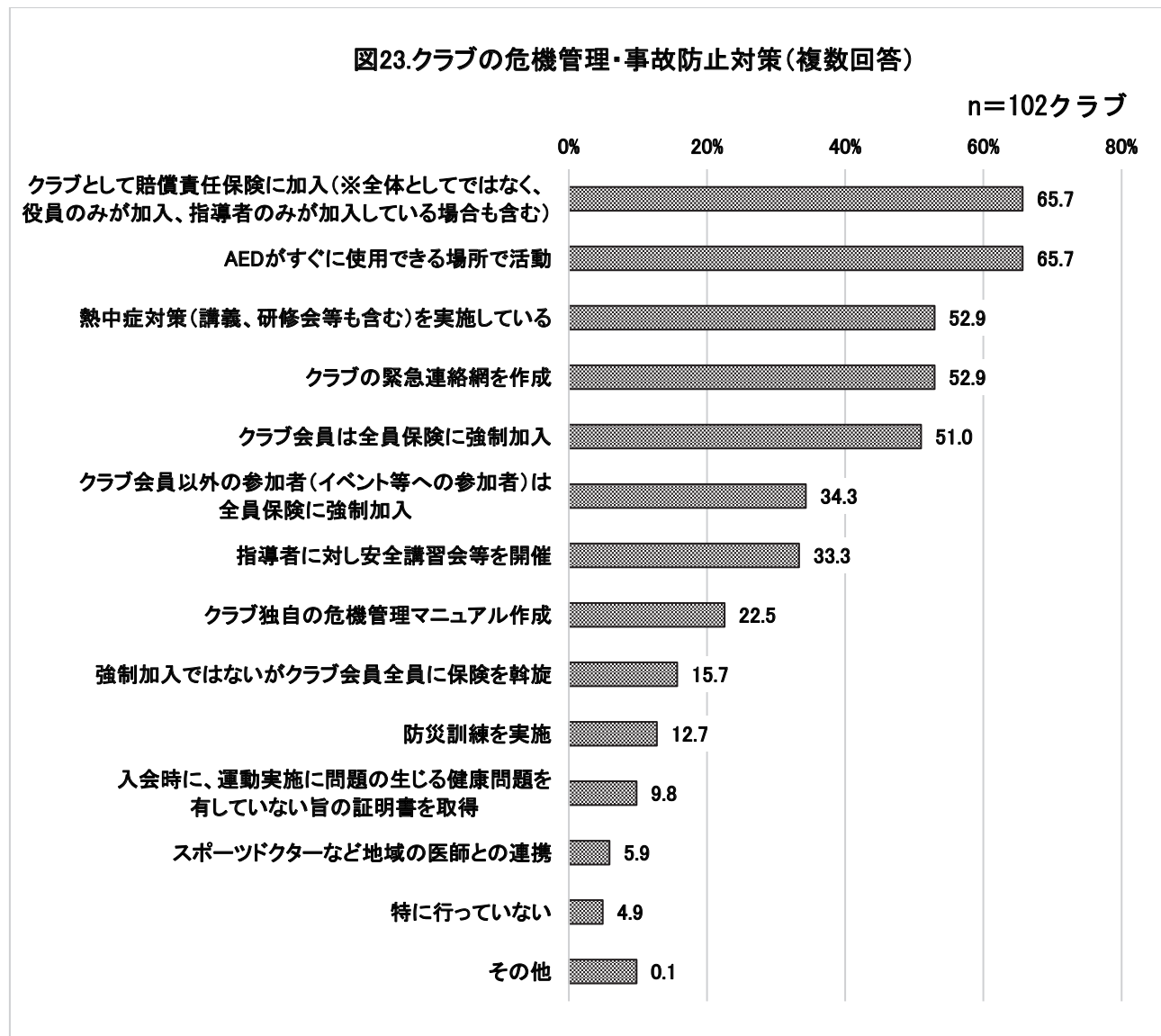
法人格の取得について、「クラブとして取得している」クラブが 42.9% (R5 は 37.4%)、「運営団体が取得している」クラブが 4.8% (R5 は 6.6%)、「取得していない」クラブが 52.4% (R5 は 56.0%) となった (図 19)。なお、クラブまたは運営団体が取得している法人格の種類は、「NPO 法人」が 60.0% (R5 は 72.5%) と最も多く、続いて「一般社団法人」が 36.0% (R5 は 27.5%) となっていた (図 20)。

法人格を取得していないクラブに対して、法人格取得の意向や予定について尋ねたところ、「意向なし」が 72.2% (R5 は 76.5%) と最も多く、続いて「意向はあるが、予定なし」が 25.9% (R5 は 23.5%)、「予定あり」が 1.9% (R5 は 0.0%) となった (図 21)。また、「意向なし」と回答したクラブにその理由を尋ねたところ、「事務作業を担う人材がいない」が 33.3% (R5 は 30.8%) と最も多く、続いて「必要性を感じない」が 23.1% (R5 は 76.9%)、「その他」が 7.7% (R5 は 10.3%)、「申請の仕方が分からない」が 5.1% (R5 は 2.6%) であった (図 22)。「その他」の具体的な理由では、「人手がない」と「地区内団体との関係性」が挙げられた。



(4) クラブの事故対策

クラブの事故対策は、「クラブとして賠償責任保険に加入」(R5は60.4%)と「AEDがすぐに使用できる場所で活動」(R5は64.8%)が65.7%と最も多く、続いて「熱中症対策を実施している」(R5は46.2%)、「クラブの緊急連絡網を作成」(R5は52.7%)が52.9%となっていた(図23)。「その他」の記述内容としては、「救命技能認定証の取得」や「教室開催時看護師の配置」等が挙げられた。



(5) クラブの活動内容

①定期活動種目におけるスポーツ・レクリエーション活動種目

スポーツ・レクリエーション活動種目の数は、「1~2 種目」が 9.1% (R5は3.7%)、「3~5 種目」が 30.3% (R5は23.2%)、「6~10 種目」が 23.2% (R5は37.8%)、「11~20 種目」が 33.3% (R5は30.5%)、「21 種目以上」が 4.0% (R5は4.9%)となっていた(図24)。具体的な種目は、「卓球」(R5は34クラブ)と「健康体操」(R5は34クラブ)が43クラブと最も多く、続いて「ダンス(ジャズダンス・社交ダンス・フォークダンス・民謡踊り等を含む)」が42クラブ(R5は40クラブ)、「ウォーキング(ノルディック・ウォーキング等を含む)」が41クラブ(R5は32クラブ)となっていた(図25)。「その他のスポーツ種目」では、「チアリーダーイング」、「パドルテニス」、「セパタクロウ」等が挙げられた。

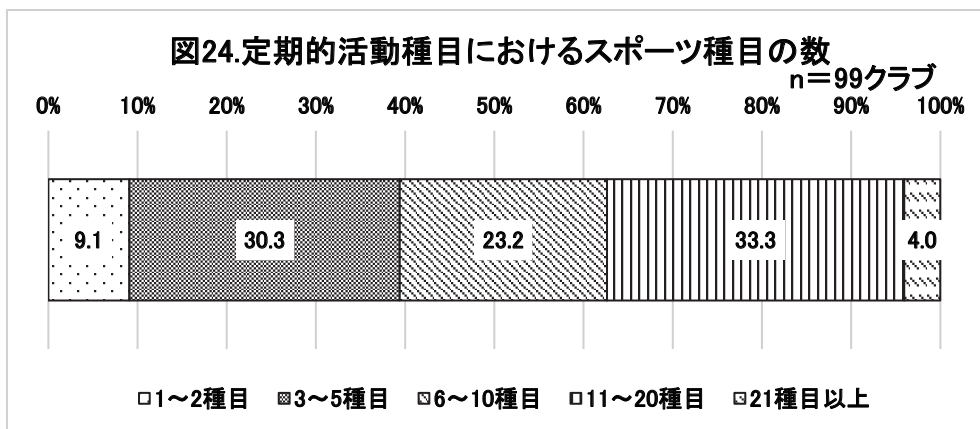
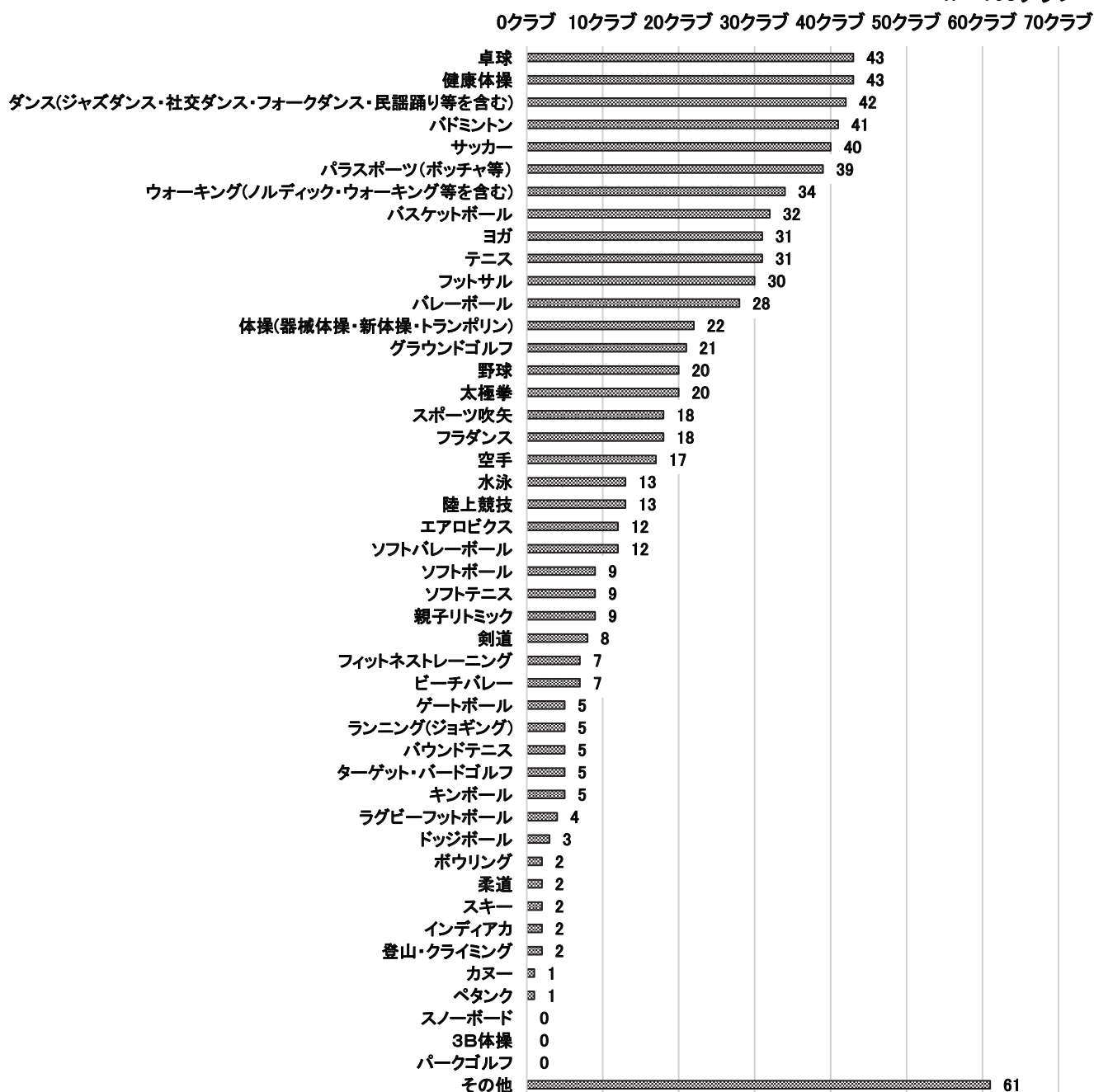


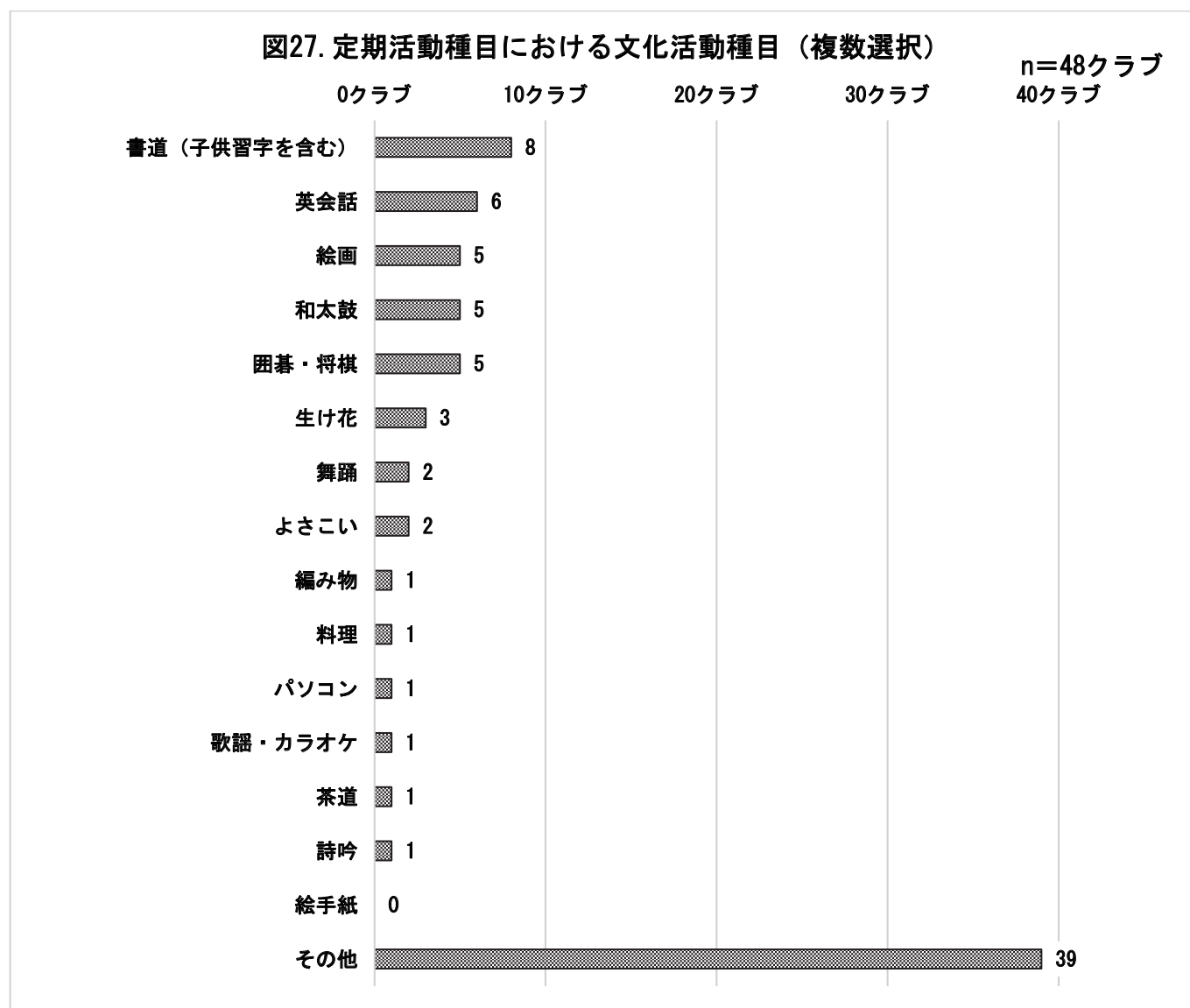
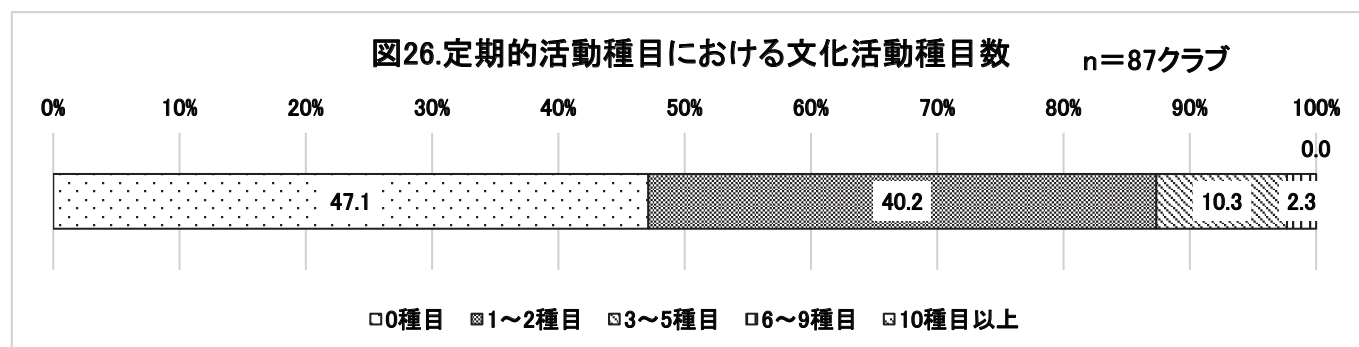
図25.定期活動種目におけるスポーツ・レクリエーション活動種目(複数選択)
n=103クラブ



②定期活動種目における文化活動種目

文化活動種目数は、「0 種目」が 47.1%（R5 は 43.8%）、「1～2 種目」が 40.2%（R5 は 35.6%）、「3～5 種目」が 10.3%（R5 は 17.8%）、「6～9 種目」が 2.3%（R5 は 2.7%）、「10 種目以上」が 0.0%（R5 は 0.0%）となっていた（図 26）。

文化活動種目は、「書道（子供習字を含む）」が 8 クラブ（R5 は 8 クラブ）と最も多く。続いて「英会話」が 6 クラブ（R5 は 9 クラブ）となっていた（図 27）。「その他の文化活動種目」では、「健康麻雀」、「コーラス」、「郷土史研究」が挙げられた。



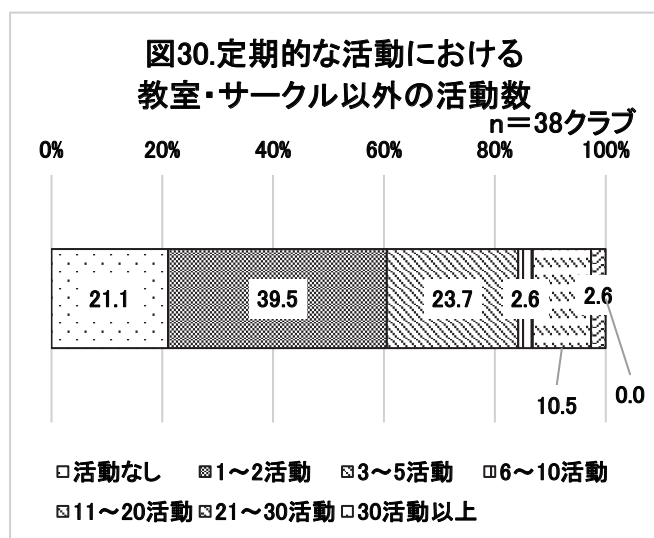
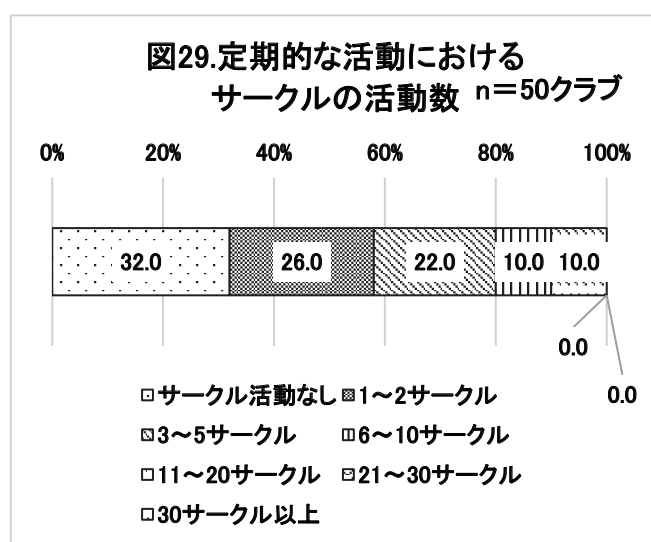
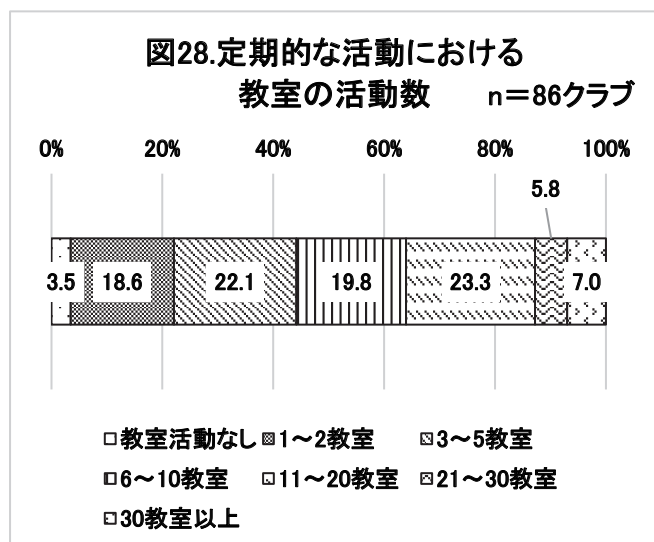
③定期活動における活動形態ごとの活動数

クラブが行っている定期的な教室活動は、「教室活動なし（0 教室）」が 3.5%、「1～2 教室」が 18.6%、「3～5 教室」が 22.1%、「6～10 教室」が 19.8%、「11～20 教室」が 23.3%、「21～30 教室」が 5.8%、「30 教室以上」が 7.0%となっていた（図 28）。また、平均は 15.9 教室で、中央値は 6.0 教室であった。

クラブが行っている定期的なサークル活動（参加者が主体的に行う活動）は、「サークル活動なし（0 サークル）」が 32.0%、「1～2 サークル」が 26.0%、「3～5 サークル」が 22.0%、「6～10 サークル」が 10.0%、「11～20 サークル」が 10.0%、「21～30 サークル」が 0.0%、「30 サークル以上」が 0.0%となっていた（図 29）。また、平均は 3.5 サークルで、中央値は 2.0 サークルであった。

また、クラブが行っている定期的な活動の内、教室活動とサークル活動に該当しない活動は、「活動なし（0 活動）」が 21.1%、「1～2 活動」が 39.5%、「3～5 活動」が 23.7%、「6～10 活動」が 2.6%、「11～20 活動」が 10.5%、「21～30 活動」が 2.6%、「30 活動以上」が 0.0%となっていた（図 30）。また、平均は 4.0 活動で、中央値は 1.0 活動であった。

なお、本調査では、活動形態ごとに回答クラブ数が大きく異なる。そのため、各種の活動を行っていないクラブが回答していない可能性が考えられる。

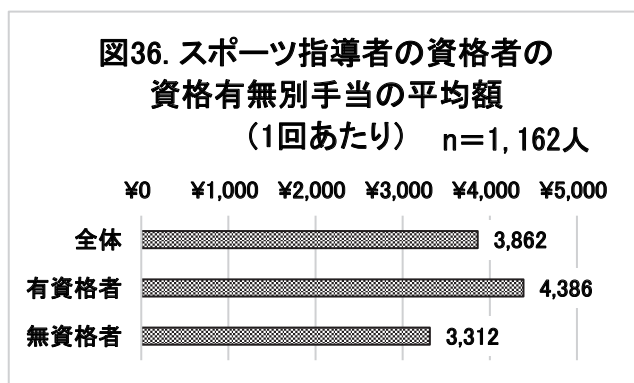
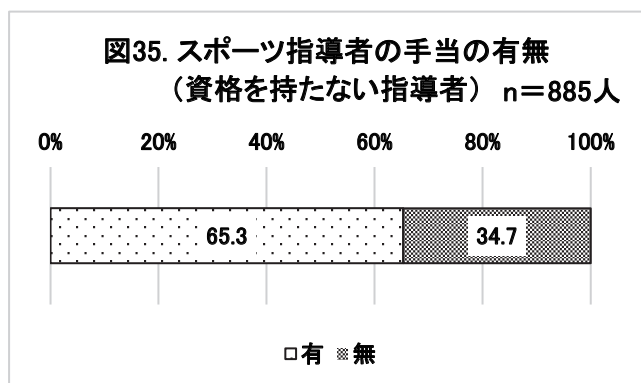
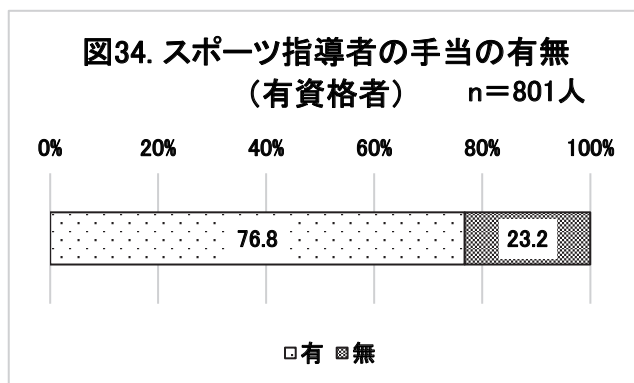
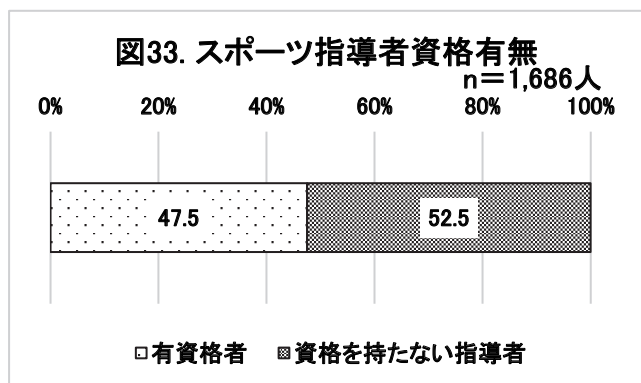
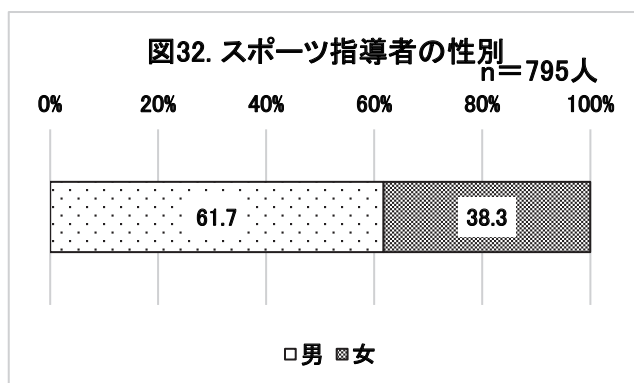
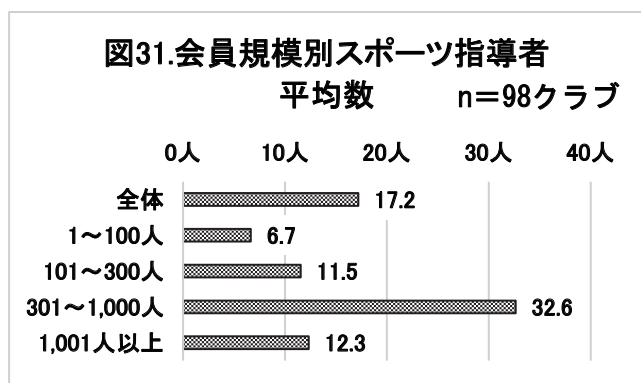


（６）クラブ所属のスポーツ指導者

①クラブのスポーツ指導者配置状況

クラブには、スポーツ指導者が１クラブ平均 17.2 人（R5 は 20.4 人）所属していた（図 31）。そのうち「男性」は 61.7%、「女性」は 38.3%であった（図 32）。また、クラブ所属のスポーツ指導者のうち「有資格者」は 47.5%（R5 は 45.6%）、「資格を持たない指導者」は 52.5%（R5 は 54.4%）となっていた（図 33）。

また、手当が支給されているスポーツ指導者は、「有資格者」では 76.8%（R5 は 79.5%）（図 34）、「資格を持たない指導者」では 65.3%（R5 は 61.5%）となっていた（図 35）。さらに、１回あたりの手当の平均額は、「有資格者」では 4,386 円/回（R5 は 4,375 円/回）、「資格を持たない指導者」では 3,312 円/回（R5 は 2,292 円/回）、全体平均で 3,862 円/回（R5 は 3,370 円/回）であった（図 36）。

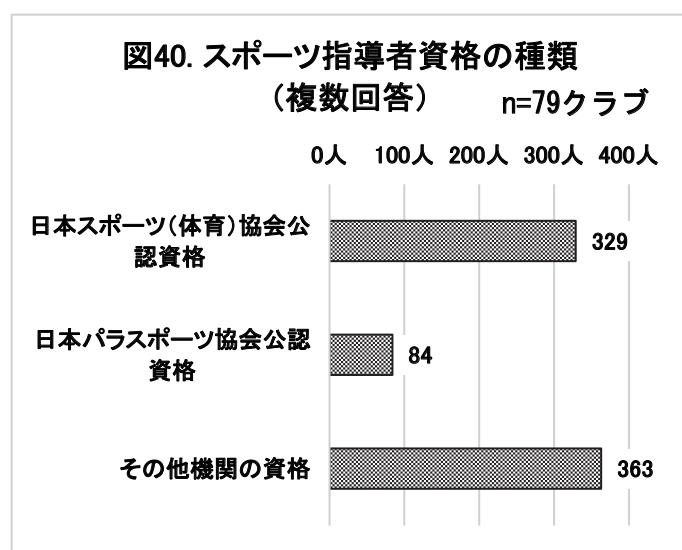
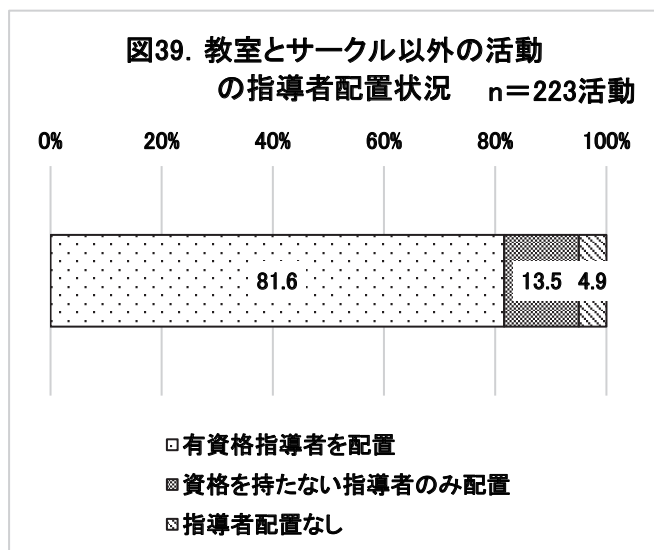
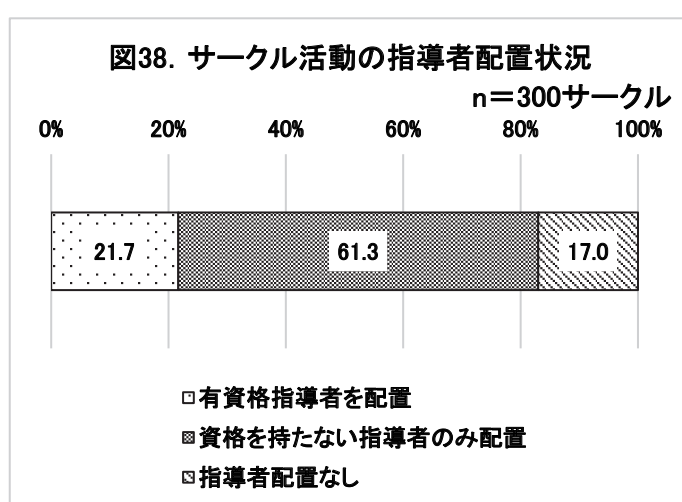
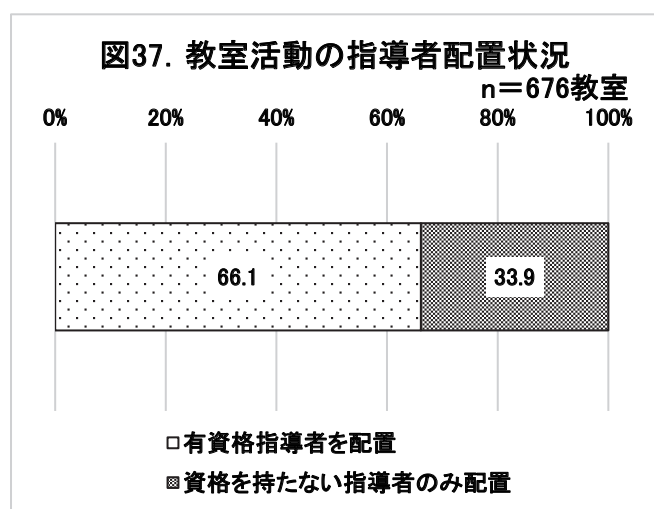


※図 32、33、34、35、36 は指導者を対象とするものであり、n はその当該数を示す。

②活動形態ごとのスポーツ指導者の配置状況

教室活動の指導者配置状況は、「有資格指導者を配置」のクラブが 66.1%、「資格を持たない指導者のみ配置」のクラブが 33.9%となっていた（図 37）。また、サークル活動については、「資格を持たない指導者のみ配置」が 61.3%と最も多く、次いで「有資格指導者を配置」が 21.7%、「指導者配置なし」が 17.0%となっていた（図 38）。さらに、教室とサークル以外の活動については、「有資格指導者を配置」が 81.6%と最も多く、次いで「資格を持たない指導者のみ配置」が 13.5%、「指導者配置なし」が 4.9%となっていた（図 39）。

有資格スポーツ指導者の認定機関は、「その他機関の資格」が 363 人（R5 は 366 人）と最も多く、次いで「日本スポーツ（体育）協会公認資格」が 329 人（R5 は 255 人）、「日本パラスポーツ協会公認資格」が 84 人（R5 は 104 人）であった（図 40）。

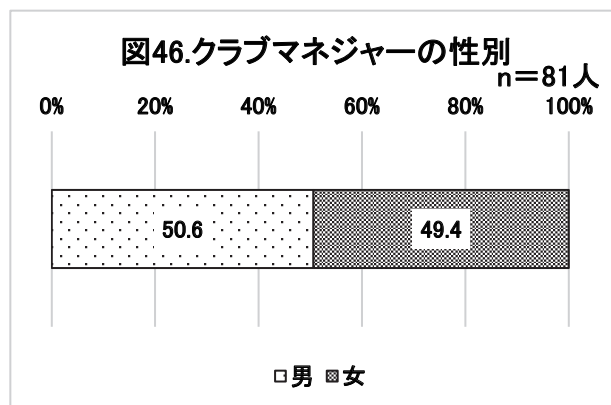
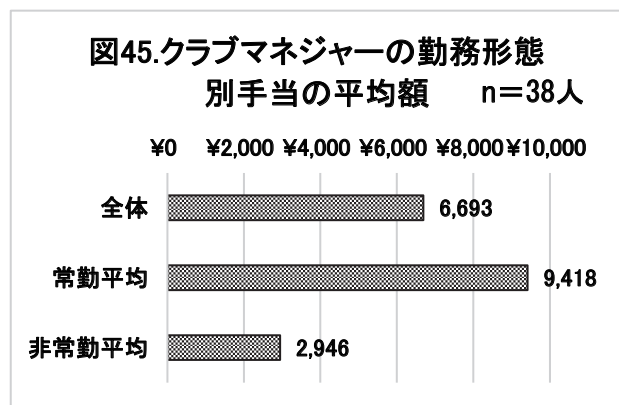
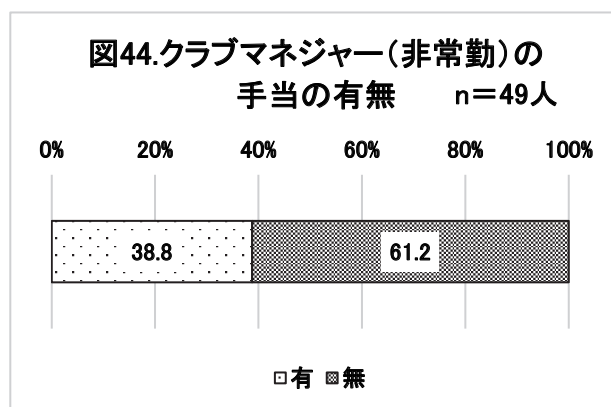
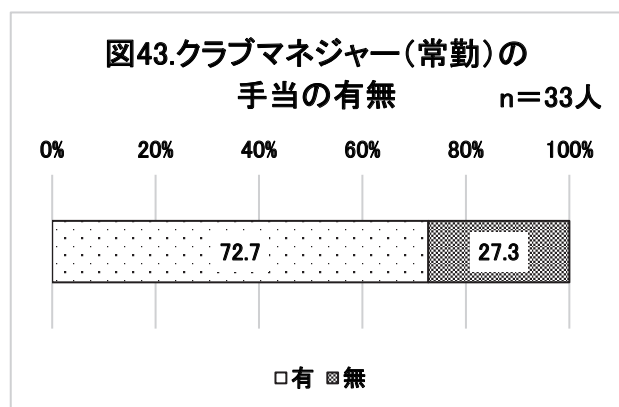
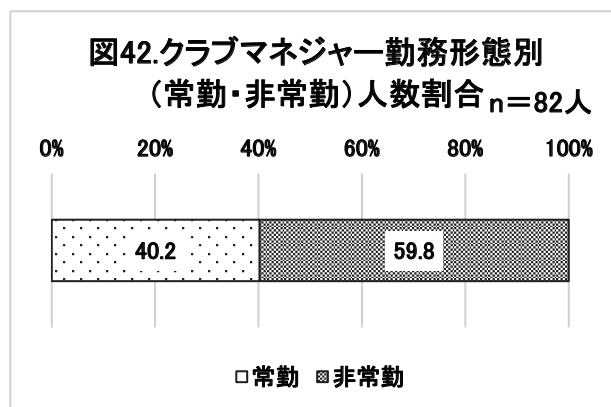
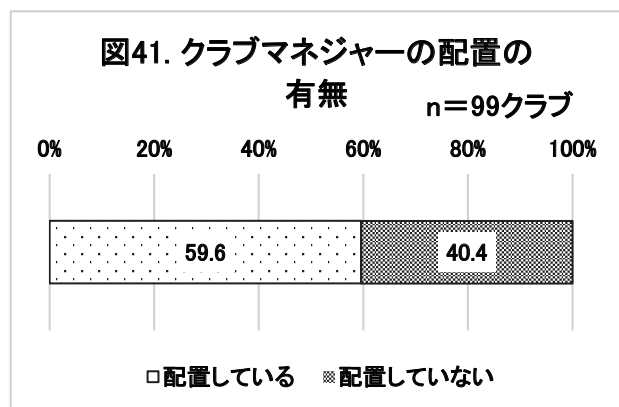


※図 37 は教室数、38 はサークル数、39 は活動数を対象とするものであり、n はその当該数を示す。

(7) クラブの事務局体制

① クラブマネジャー

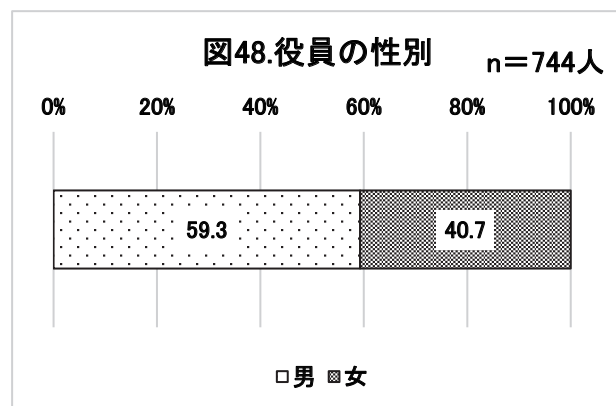
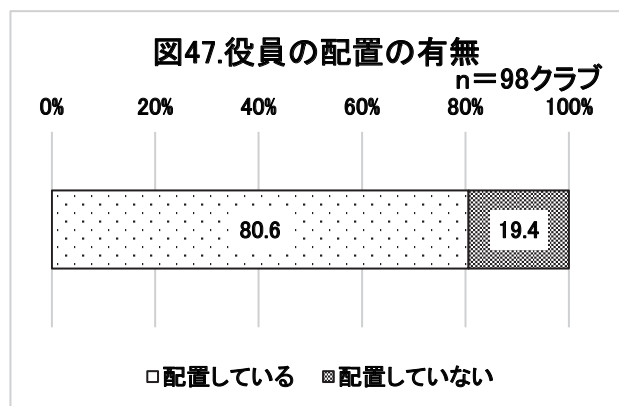
クラブマネジャーについては、「配置している」が 59.6% (R5 は 62.9%)、「配置していない」が 40.4% (R5 は 37.1%) となっていた (図 41)。また、「配置している」と回答したクラブのクラブマネジャーの勤務形態をみると、「常勤」が 40.2% (R5 は 31.2%)、「非常勤」が 59.8% (R5 は 68.8%) となっており (図 42)、手当が支給されているクラブマネジャーは「常勤」では 72.7% (R5 は 65.5%) (図 43)、「非常勤」では 38.8% (R5 は 40.6%) となっていた (図 44)。さらに、1 日あたりの手当の平均額は「常勤」では 9,418 円/日 (R5 は 8,164 円/回)、「非常勤」では 2,946 円/日 (R5 は 2,488 円/回) で、全体平均で 6,693 円/日 (R5 は 4,920 円/回) となっていた (図 45)。クラブマネジャーの性別は、男性が 50.6%、女性が 49.4%となっていた (図 46)。



※図 42、43、44、45、46 はクラブマネジャーを対象とするものであり、n はその当該数を示す。

②役員

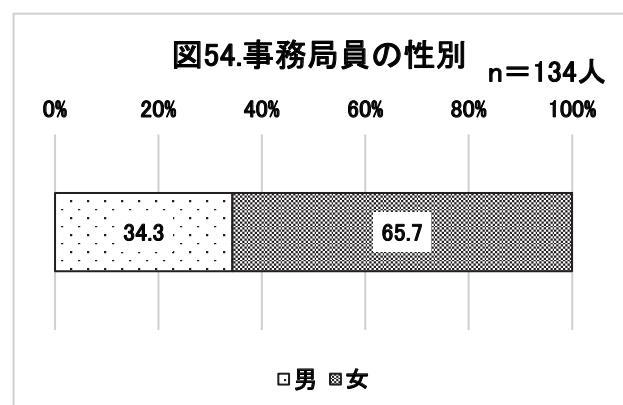
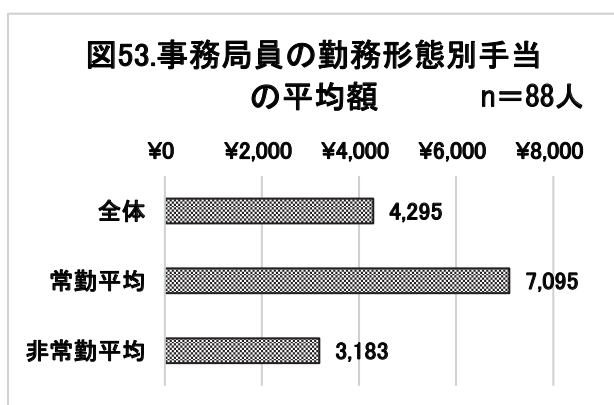
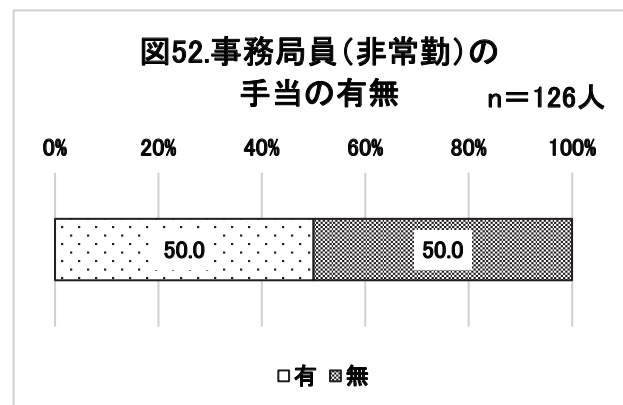
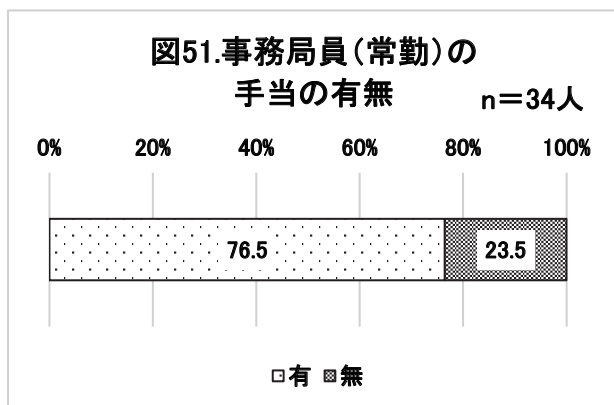
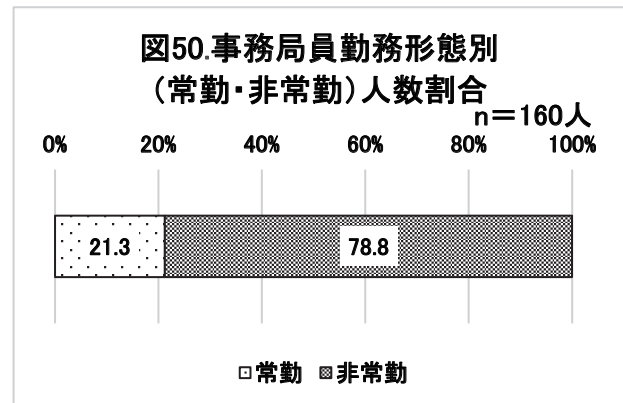
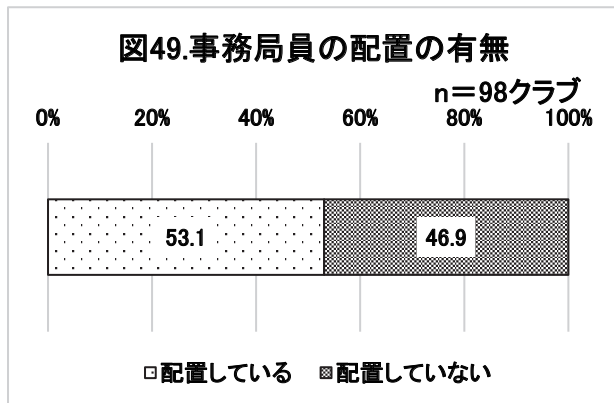
役員については、「配置している」が 80.6%、「配置していない」が 19.4%となっていた（図 47）。また、役員の性別は、男性が 59.3%、女性が 40.7%となっていた（図 48）。



※図 48 は役員を対象とするものであり、n はその当該数を示す。

③ 事務局員

事務局員については、「配置している」が 53.1% (R5 は 60.7%)、「配置していない」が 46.9% (R5 は 39.3%) となっていた (図 49)。また、クラブに配置されている事務局員の勤務形態をみると、「常勤」が 21.3% (R5 は 16.1%)、「非常勤」が 78.8% (R5 は 83.9%) となっており (図 50)、手当が支給されている事務局員は、「常勤」では 76.5% (R5 は 59.3%) (図 51)、「非常勤」では 50.0% (R5 は 60.3%) となっていた (図 52)。さらに、1 日あたりの手当の平均額は、「常勤」が 7,095 円/日 (R5 は 4,511 円/日)、「非常勤」が 3,183 円/日 (R5 は 3,881 円/日) で、全体平均では 4,295 円/日 (R5 は 3,975 円/日) となっていた (図 53)。また、事務局員の性別は、男性が 34.3%、女性が 65.7%となっていた (図 54)。

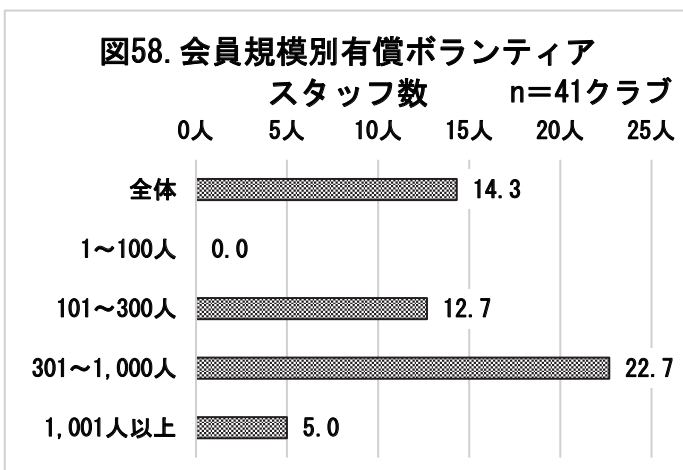
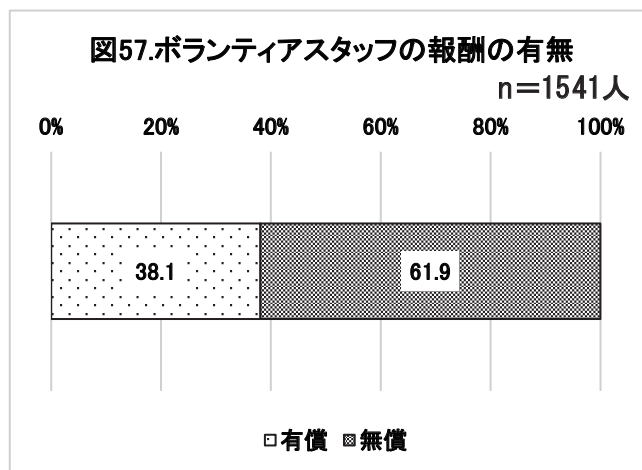
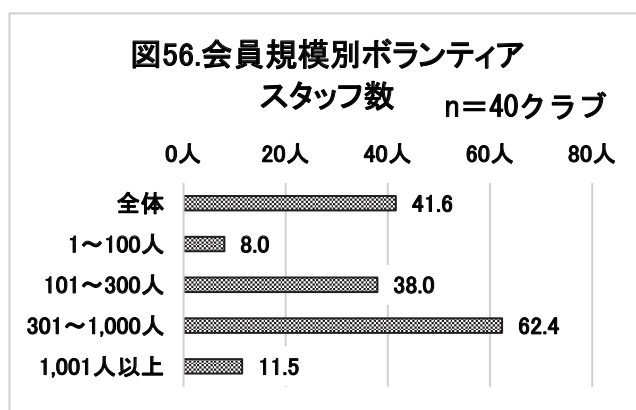
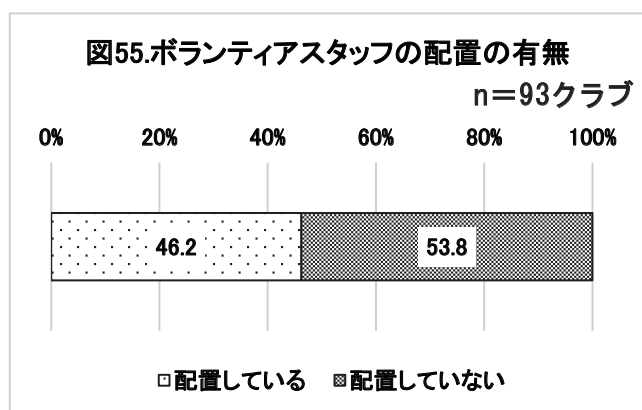


※図 50、51、52、53、54 は事務局員を対象とするものであり、n はその当該数を示す。

③ クラブ運営ボランティアスタッフ

ボランティアスタッフ（単発イベント等含む）については、「配置している」が 46.2%（R5 は 61.3%）、「配置していない」が 53.8%（R5 は 38.8%）となっていた（図 55）。また、クラブにおけるボランティアスタッフの延べ人数について 1 クラブ平均 41.6 人（R5 は平均 51.2 人）が活動していた。クラブの規模別にボランティアスタッフ数をみると、「1～100 人」の会員を有するクラブは平均 8.0 人（R5 は平均 54.6 人）、「101～300 人」のクラブでは平均 38.0 人（R5 は平均 22.3 人）、「301～1,000 人」のクラブでは平均 62.4 人（R5 は平均 75.6 人）、「1,001 人以上」のクラブでは平均 11.5 人（R5 は平均 21.0 人）のボランティアスタッフが活動を支援していた（図 56）。

加えて、クラブにおけるボランティアスタッフへの報酬については、「有償」が 38.1%（R5 は 40.4%）、「無償」が 61.9%（R5 は 59.6%）となっていた（図 57）。クラブにおける有償ボランティアスタッフの延べ人数について 1 クラブ平均 14.3 人（R5 は平均 11.1 人）が活動していた。クラブの規模別に有償ボランティアスタッフ数をみると、「1～100 人」の会員を有するクラブは平均 0.0 人（R5 は平均 27.1 人）、「101～300 人」のクラブでは平均 12.7 人（R5 は平均 4.5 人）、「301～1,000 人」のクラブでは平均 22.7 人（R5 は平均 8.1 人）、「1,001 人以上」のクラブでは平均 5.0 人（R5 は平均 0.0 人）が有償でボランティアスタッフを担っていた（図 58）。



※図 57 はボランティアスタッフを対象とするものであり、n はその当該数を示す。

④ マネジメント資格保有者

クラブマネジャー資格保有者の延べ人数について1クラブ平均0.4人が保有していた。クラブの規模別にクラブマネジャー資格保有者数をみると、「1～100人」の会員を有するクラブは平均0.2人、「101～300人」のクラブでは平均0.4人、「301～1,000人」のクラブでは平均0.5人、「1,001人以上」のクラブでは平均0.3人がクラブマネジャー資格を保有していた（図59）。

また、アシスタントマネジャー資格保有者の延べ人数について1クラブ平均0.6人が保有していた。クラブの規模別にアシスタントマネジャー資格保有者数をみると、「1～100人」の会員を有するクラブは平均0.3人、「101～300人」のクラブでは平均0.6人、「301～1,000人」のクラブでは平均0.8人、「1,001人以上」のクラブでは平均0.3人がアシスタントマネジャー資格を保有していた（図60）。

図59. 会員規模別クラブマネジャー
資格保有者数 n=99クラブ

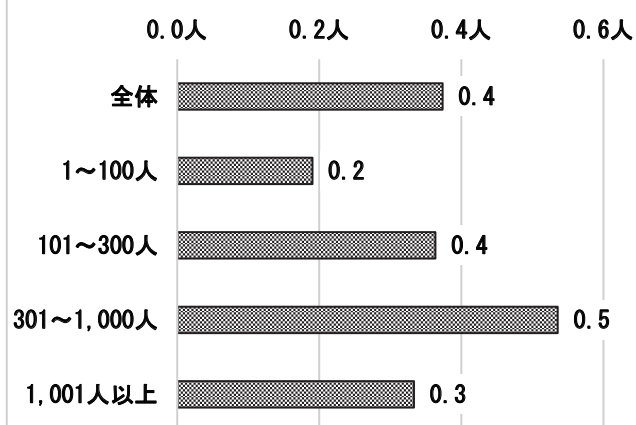
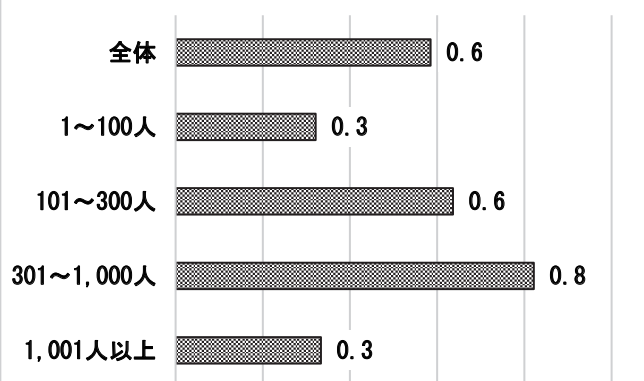


図60. 会員規模別アシスタント
マネジャー資格保有者数 n=106クラブ

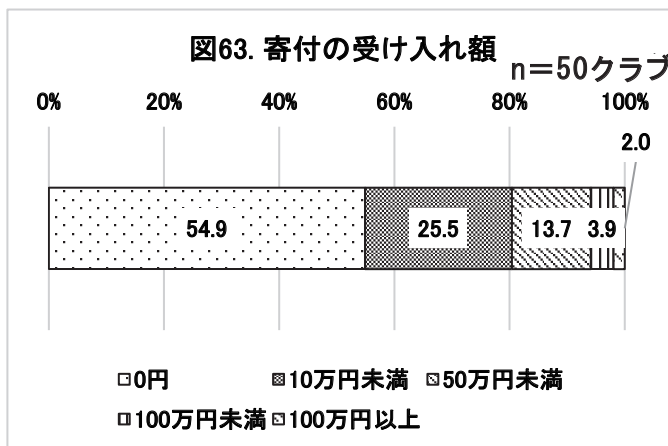
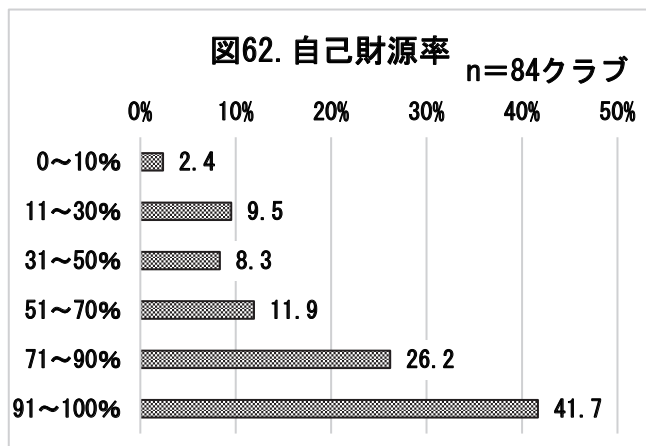
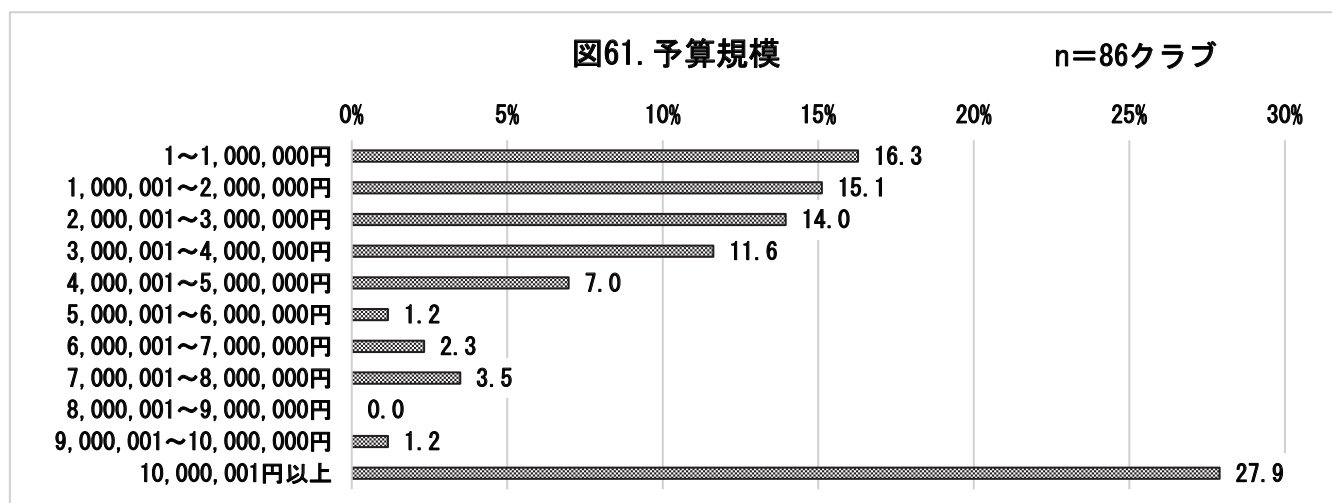


（８）クラブの活動費

①クラブの予算および収入

クラブの年間予算は、「10,000,001 円以上」が 27.9%（R5 は 29.9%）と最も多く、続いて「1～1,000,000 円」が 16.3%（R5 は 25.4%）となっていた（図 61）。また、自己財源率（「会費・事業費・委託費」を足した自己財源が全体収入に占める割合）をみると、「91～100%」のクラブが 41.7%（R5 は 35.8%）と最も多く、続いて、「71～90%」のクラブが 26.2%（R5 は 26.9%）となっていた。全体の 79.8%（R5 は 76.1%）のクラブにおいて自己財源率が「51%以上」となっていた（図 62）。

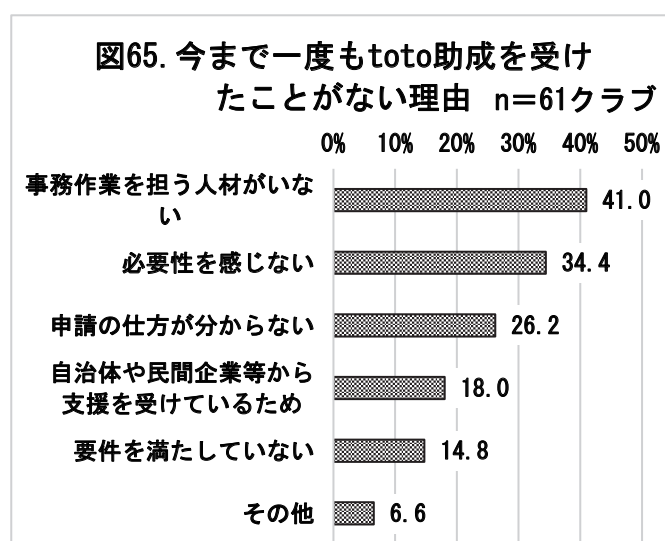
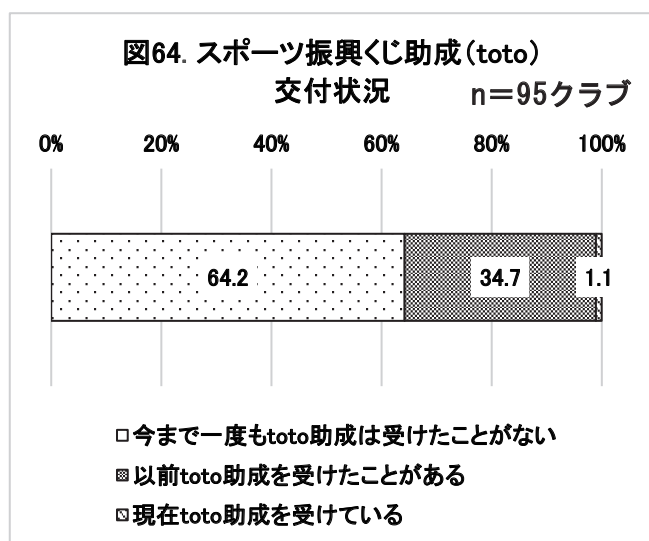
クラブの寄付受け入れについてみると、「0 円」のクラブが 54.9%（R5 は 63.6%）と最も多く、次いで「10 万円未満」のクラブが 25.5%（R5 は 18.2%）であった（図 63）。なお、寄付を受け入れているクラブは、個人から平均 8.7 件（R5 は 8.8 件）、法人から平均 13.2 件（R5 は 12.0 件）の寄付を受け入れていた。



② スポーツ振興くじ助成

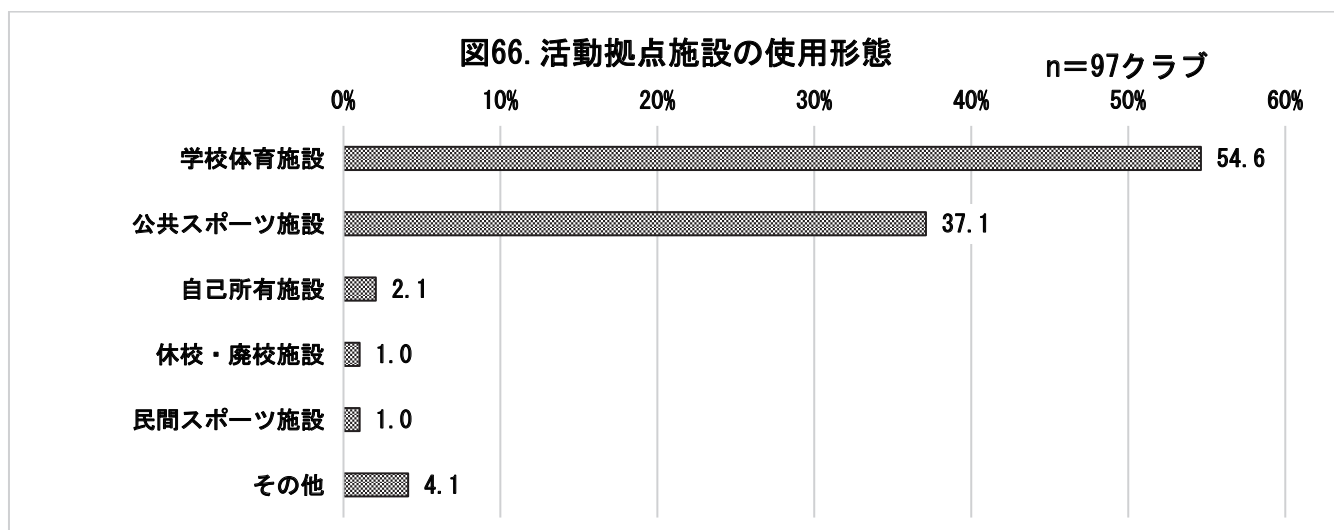
スポーツ振興くじ助成（toto 助成）の交付を受けているかについては、「今まで一度も受けたことがない」が 64.2%（R5 は 60.5%）と最も多く、続いて「以前受けたことがある」が 34.7%（R5 は 37.2%）、「現在受けている」が 1.1%（R5 は 2.3%）となっていた（図 64）。

また、スポーツ振興くじ助成（toto 助成）の交付を「今まで一度も受けたことがない」クラブにその理由を聞いたところ、「事務作業を担う人材がいない」が 41.0%（R5 は 20.4%）と最も多く、続いて「必要性を感じない」が 34.4%（R5 は 44.9%）、「申請の仕方が分からない」が 26.2%（R5 は 18.4%）であった。「その他」の具体的な理由では、「助成を受けなくても運営できているため」、「必要だが手続きに手間がかかる」等が挙げられた。（図 65）。



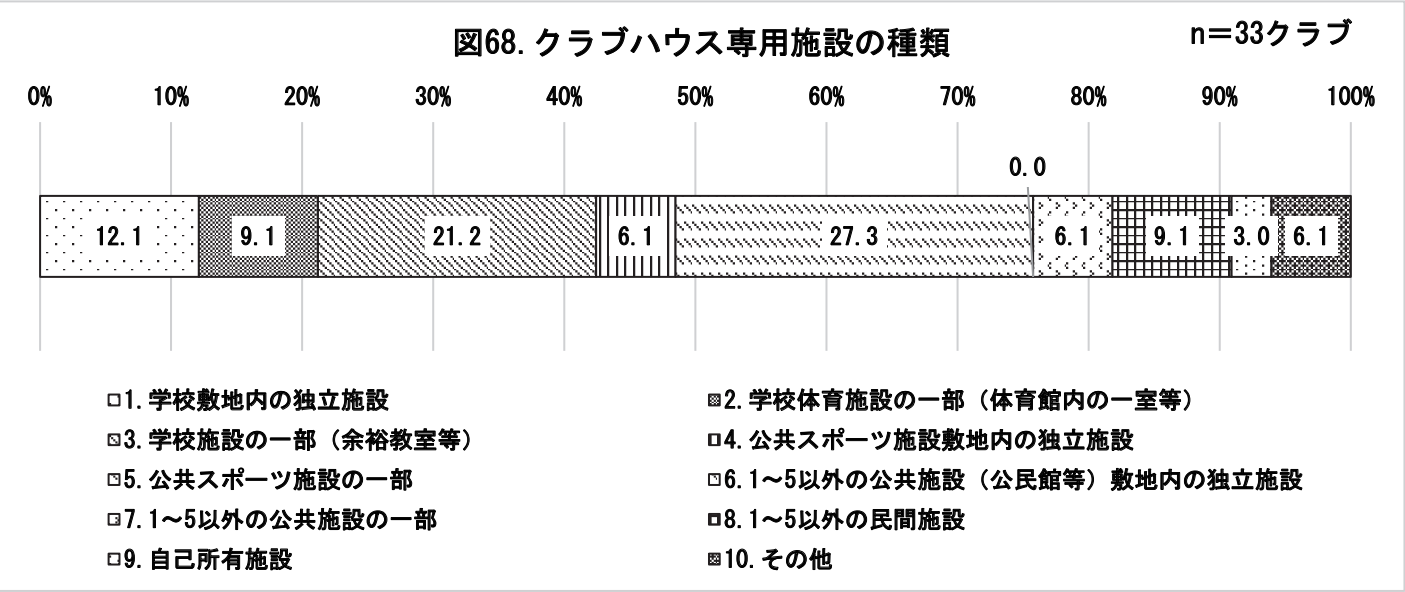
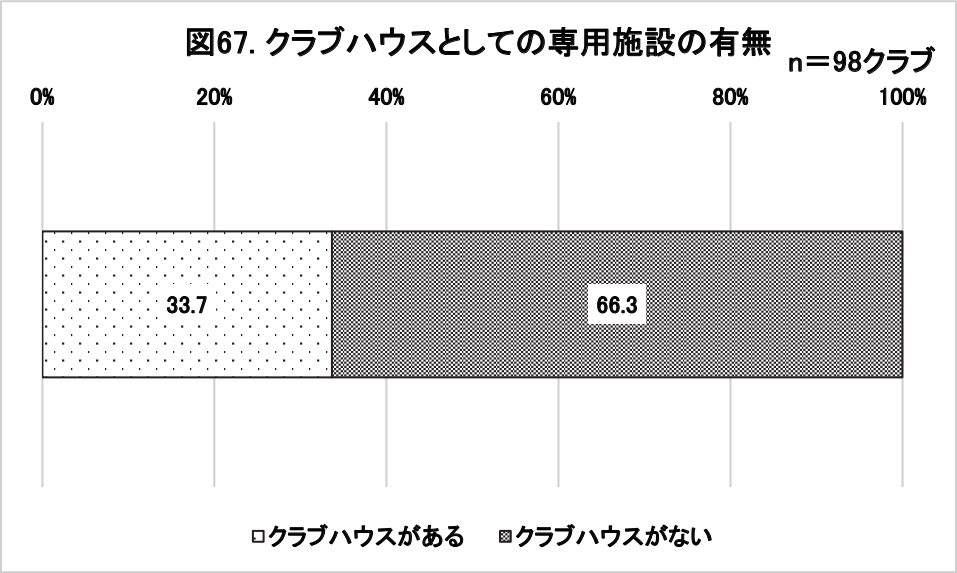
(9) クラブの活動拠点施設

主たる活動拠点施設の種類の、「学校体育施設」が 54.6%（R5 は 63.6%）、続いて「公共スポーツ施設」が 37.1%（R5 は 28.4%）、「その他」が 4.1%（R5 は 3.4%）、「自己所有施設」が 2.1%（R5 は 1.1%）、等となっていた（図 66）。「その他」では、「福祉事業所」、「区民会館等公共施設」などが挙げられた。



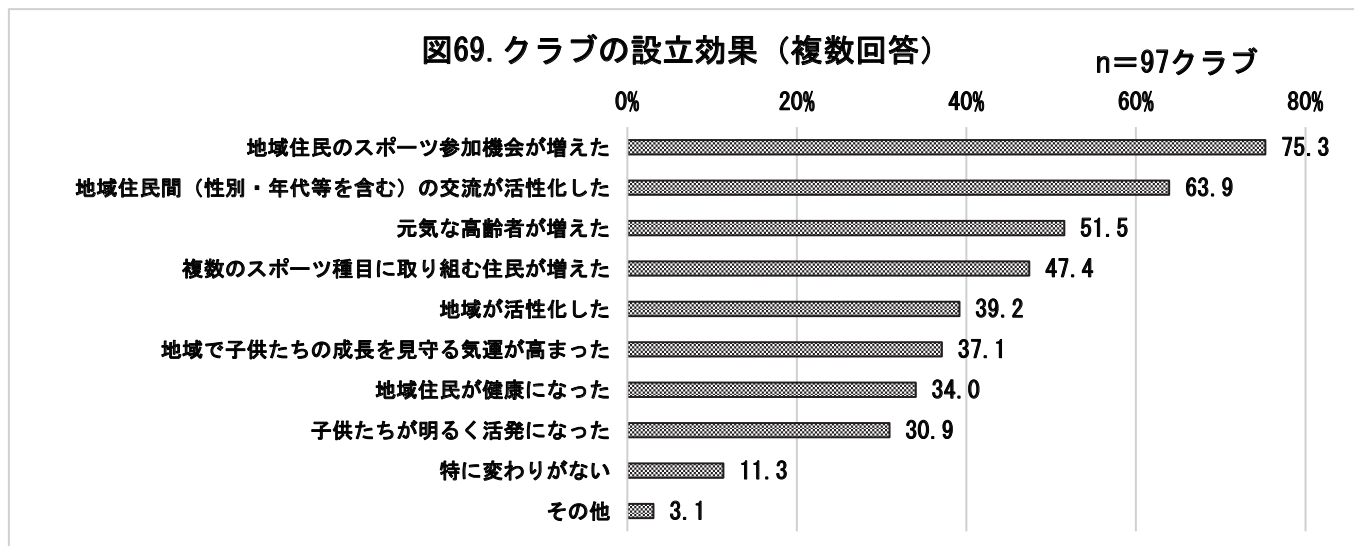
(10) クラブハウス

クラブハウスについては、「クラブハウスがある」が 33.7% (R5 は 34.1%)、「クラブハウスがない」が 66.3% (R5 は 65.9%) となっていた (図 67)。また、クラブハウスの種類は、「公共スポーツ施設の一部」が 27.3% (R5 は 27.6%) で最も多く、続いて「学校施設の一部 (余裕教室等)」が 21.2% (R5 は 24.1%) 等となっていた (図 68)。「その他」では、「賃貸事務所」等が挙げられた。



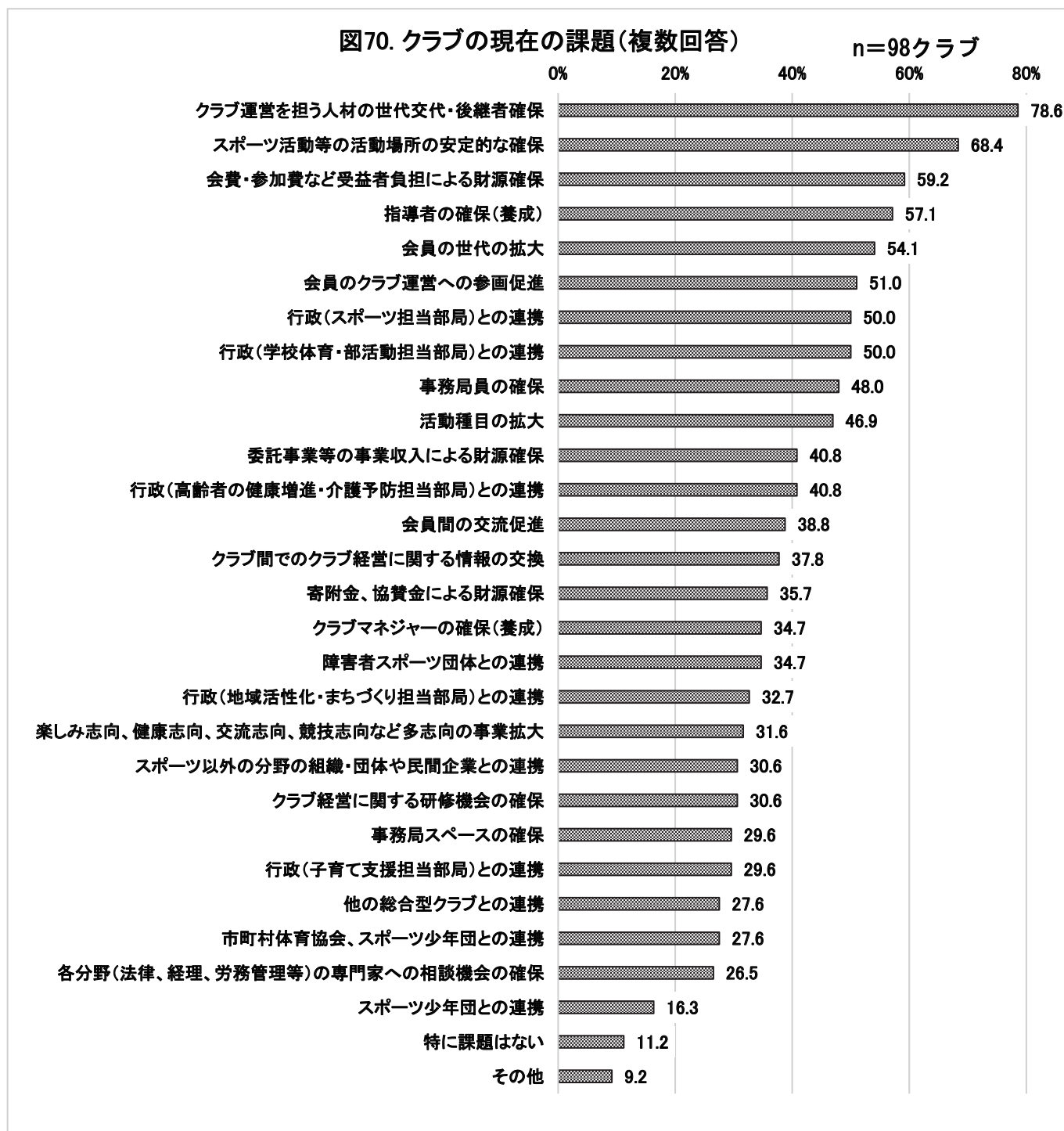
(11) クラブ設立の効果について

クラブ設立による効果は、「地域住民のスポーツ参加機会が増えた」が 75.3% (R5 は 75.0%) と最も多く、続いて、「地域住民間の交流が活性化した」が 63.9% (R5 は 67.0%)、「元気な高齢者が増えた」が 51.5% (R5 は 53.4%) となっていた (図 69)。「その他」の具体的な内容としては、「新しいグループができた」、「地域を超えて横のつながりが増えた。」等が挙げられた。



(12) クラブの現在の課題

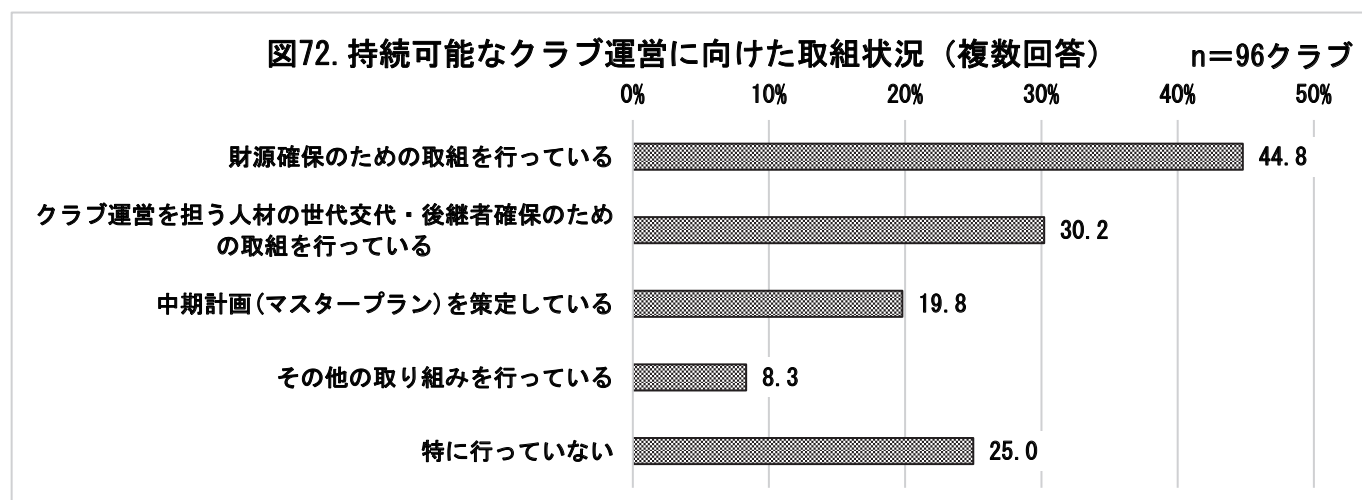
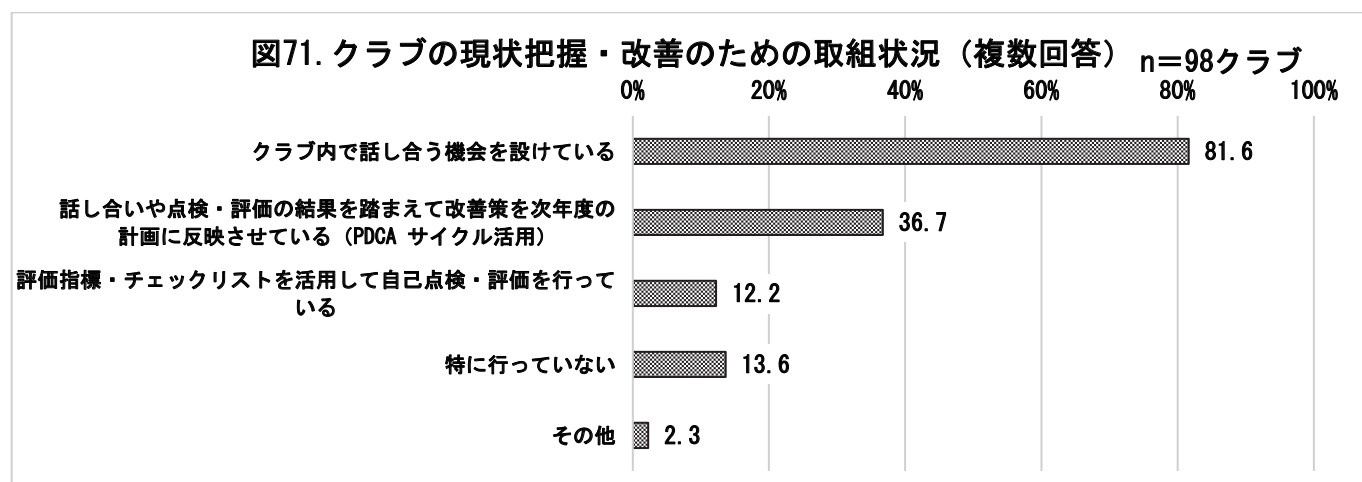
クラブの現在の課題は、「クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保」が 78.6% (R5 は 68.2%) と最も多く、続いて、「スポーツ活動場所の安定的な確保」が 68.4% (R5 は 52.3%)、「会費・参加費など受益者負担による財源確保」が 59.2% (R5 は 33.0%)、となっていた。また、「特に課題はない」クラブが 11.2% (R5 は 2.3%) であった (図 70)。「その他」の具体的な内容としては、「セキュリティ等 ICT 技術支援」、「住民の理解」等が挙げられた。



(13) 現状把握・改善のための取組状況

クラブの現状の把握、改善のための取組として最も行われているのは、「クラブ内で話し合う機会を設けている」が81.6%（R5「クラブマネージャーや事務局員などで話し合う機会を設けている」は81.8%）であり、続いて「話し合いや点検・評価の結果を踏まえて改善策を次年度の計画に反映させている」が36.7%（R5は34.1%）、「評価指標・チェックリストを活用して自己点検・評価を行っている」が12.2%（R5は55.7%）であった。また、取組を「特に行っていない」クラブは13.6%（R5は3.4%）であり、「その他」のクラブは2.3%（R5は6.8%）であった（図71）。「その他」の具体的な内容として、「広報活動の協力を模索しています」、「自主クラブの運営（指導者）と総合型の運営側とのルール作成や取り決めはなく、あくまでも協力をお願いする形であったため、問題や困っていることに対応できていなかった。」などが挙げられた。

持続可能なクラブ運営に向けた取組として最も行われているのは、「財源確保のための取組を行っている」が44.8%であり、続いて「クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保のための取組を行っている」が30.2%、「中期計画を策定している」が19.8%、「その他の取り組みを行っている」クラブは8.3%であった。また、取組を「特に行っていない」クラブは25.0%であった（図72）。「その他の取り組みを行っている」クラブでは、「指導者への危機管理研修」、「法人化の検討」「各競技ごとに会員様へ運営役員への加入依頼等」などが挙げられた。



(14) 行政からの支援・行政との連携状況について

行政からの支援状況について、全体の 70.4%と最も多くのクラブに選択された回答は、「活動場所に対する優先受付の支援を受けている」(R5 は 63.6%)であった。次いで、「活動場所に対する使用料金の減額や免除の支援を受けている」が 66.3% (R5 は 60.2%)、「市区町村行政から資金援助(補助金,助成金,委託費,物品支給等)を受けている」が 51.0% (R5 は 61.4%)、であった図 73)。「その他」の具体的な内容としては、「市の事業の運営委託をされている」、「行政側からの話し合い等なし」等が挙げられた。

また、行政との連携状況について、「市区町村行政は総合型クラブに対する理解がある」と回答したクラブが全体の 69.1% (R5 は 76.1%)と最も多く、次いで「市区町村行政との連携体制が整っている」が 47.4% (R5 は 63.6%)、「地域の課題解決のための方策等について市区町村行政と連携して事業を実施している」(R5 は 28.4%)と「市区町村行政を含めた連絡協議会等を定期に開催している」(R5 は 37.5%)が 36.1%であった(図 74)。「その他」の具体的な内容としては、「連携を模索中」、「むしろ、行政は無関心にさえ思う。行政は地域スポーツクラブを作りさえすれば良かったのだと思う。」等が挙げられた。

図73. 行政からの支援状況（複数回答）

n=98クラブ

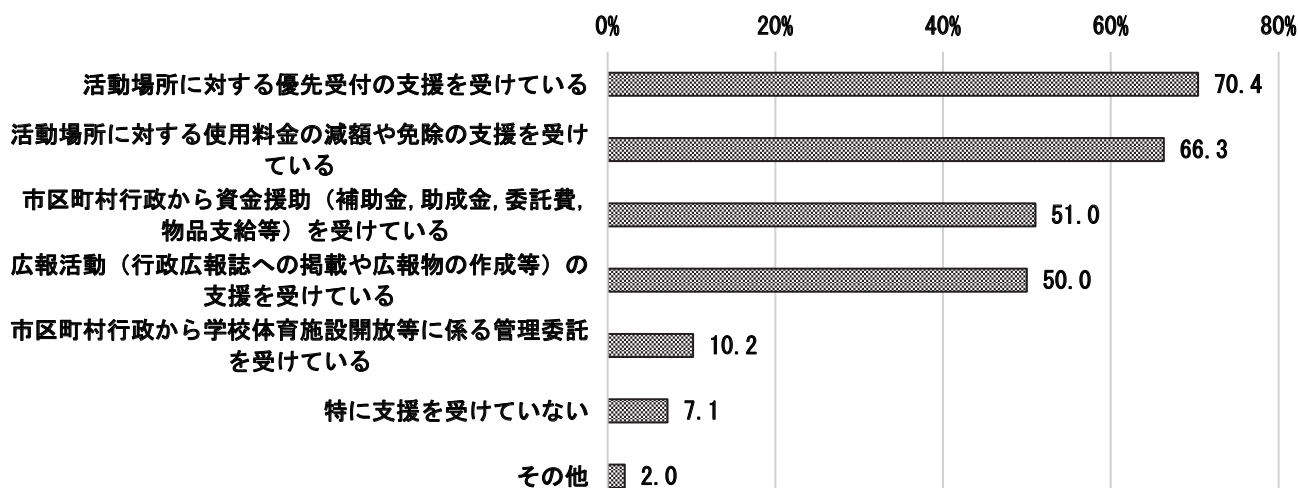
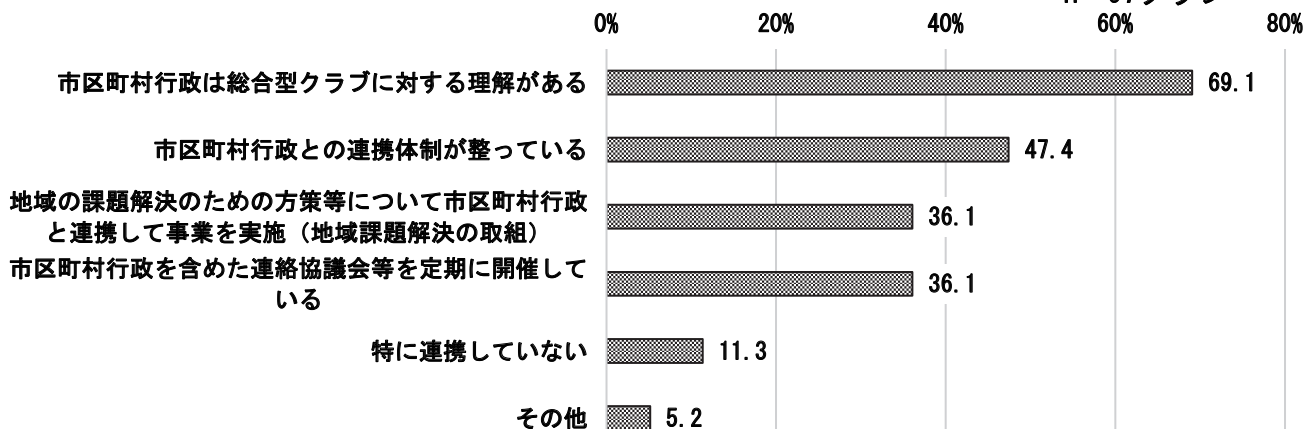


図74. 行政との連携状況（複数回答）

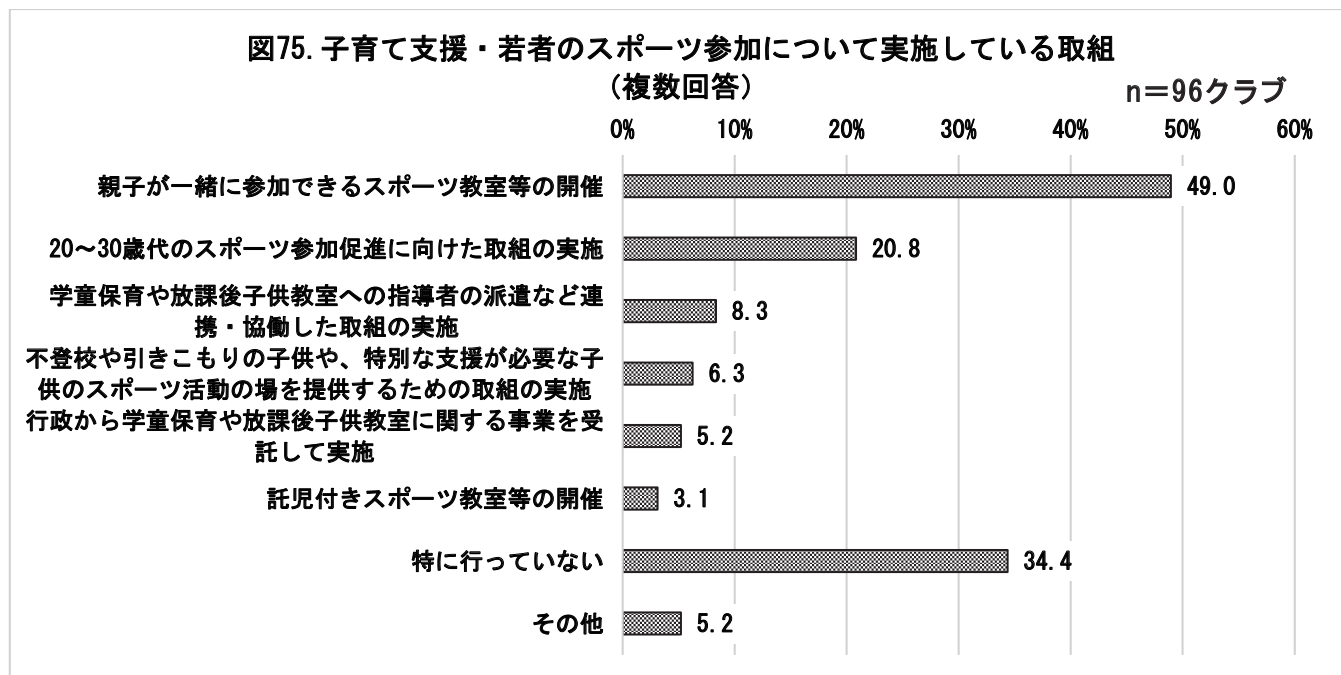
n=97クラブ



(15) クラブの特色ある取組について

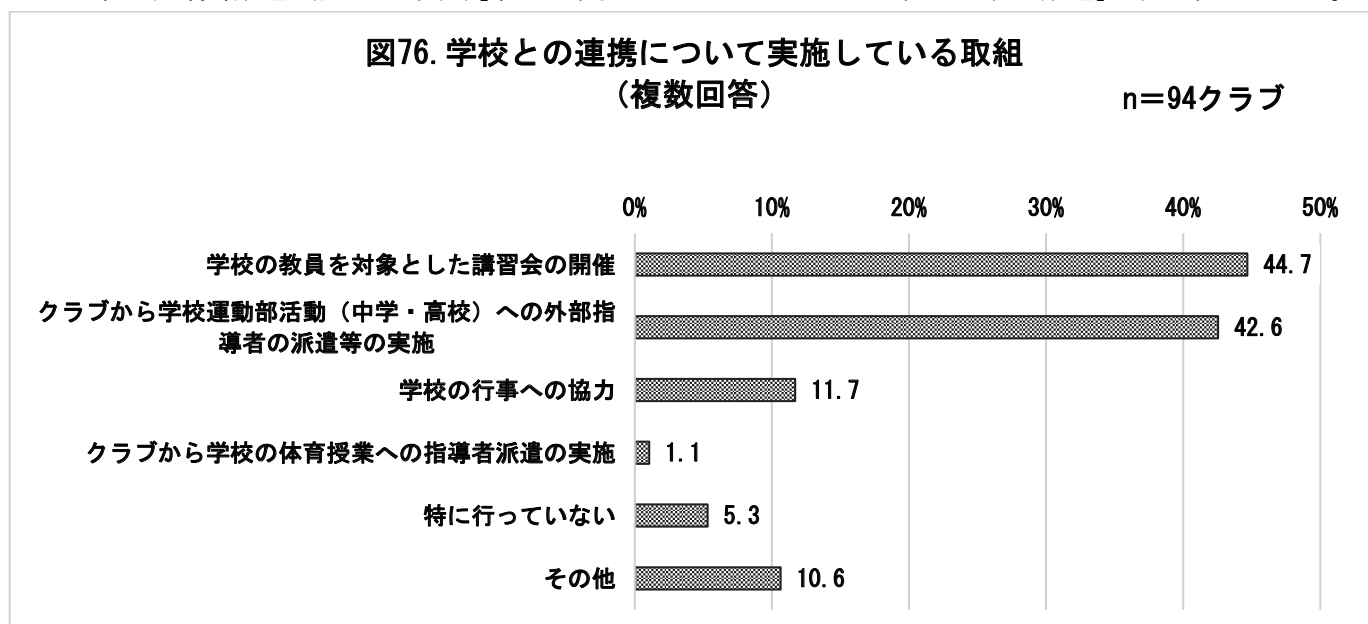
①子育て支援・若者のスポーツ参加

子育て支援・若者のスポーツ参加に関する取組について、「親子が一緒に参加できるスポーツ教室等の開催」が 49.0% (R5 は 54.5%) と最も多く、続いて「特に行っていない」が 34.4% (R5 は 29.5%)、「20~30 歳代のスポーツ参加促進に向けた取組の実施」が 20.8% (R5 は 20.5%)「であった (図 75)。「その他」の具体的な内容としては、「在勤者が参加できるプログラムの充実」等が挙げられた。



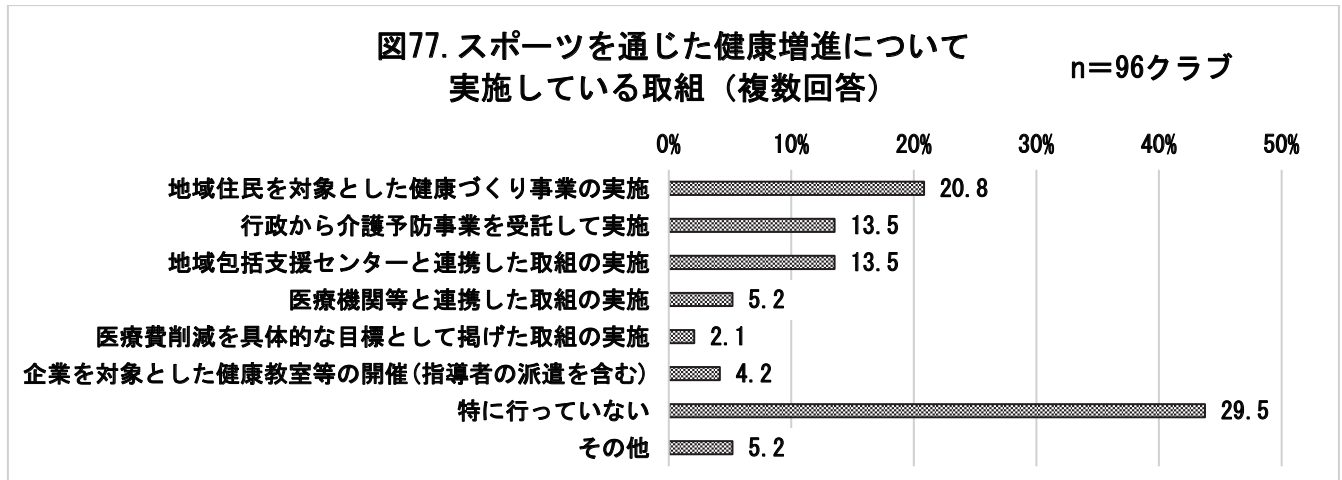
② 学校との連携

学校との連携に関する取組について、「学校の教員を対象とした講習会の開催」が 44.7% (R5 は 2.3%) と最も多かった。続いて「クラブから学校運動部活動 (中学・高校) への外部指導者の派遣等の実施」が 42.6% (R5 は 9.1%)「学校の行事への協力」が 11.7% (R5 は 35.2%) であった (図 76)。「その他」の具体的な内容としては、「指導員派遣 (区立小学校)」、「小学校へのアシスタントティーチャー派遣」等が挙げられた。



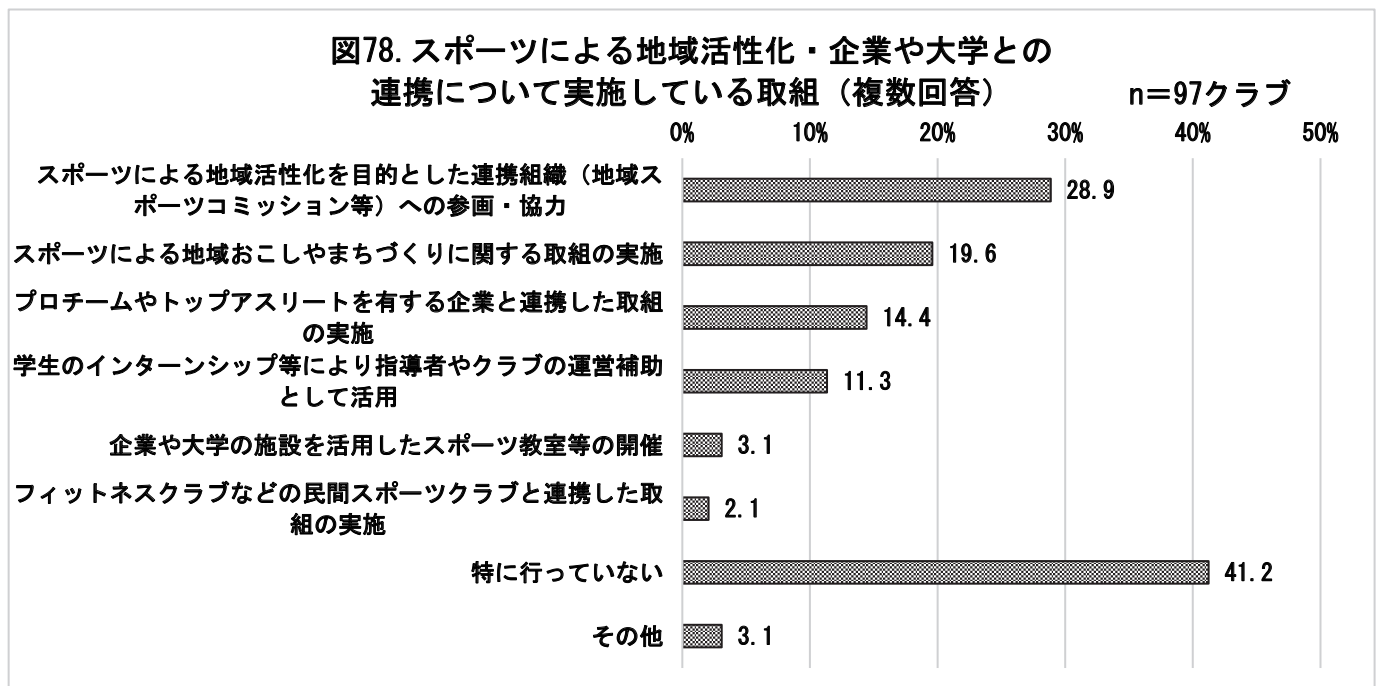
⑤ スポーツを通じた健康増進

スポーツを通じた健康増進に関する取組について、「特に行っていない」が 29.5%（R5 は 29.5%）と最も多く、続いて「地域住民を対象とした健康づくり事業の実施」が 20.8%（R5 は 68.2%）、「行政から介護予防事業を受託して実施」（R5 は 11.4%）と「地域包括支援センターと連携した取組の実施」（R5 は 13.6%）が 13.5%であった（図 77）。「その他」の具体的な内容としては、「福祉施設でのスポーツ指導」や「障がい者の成人以降の運動不足解消」等が挙げられた。



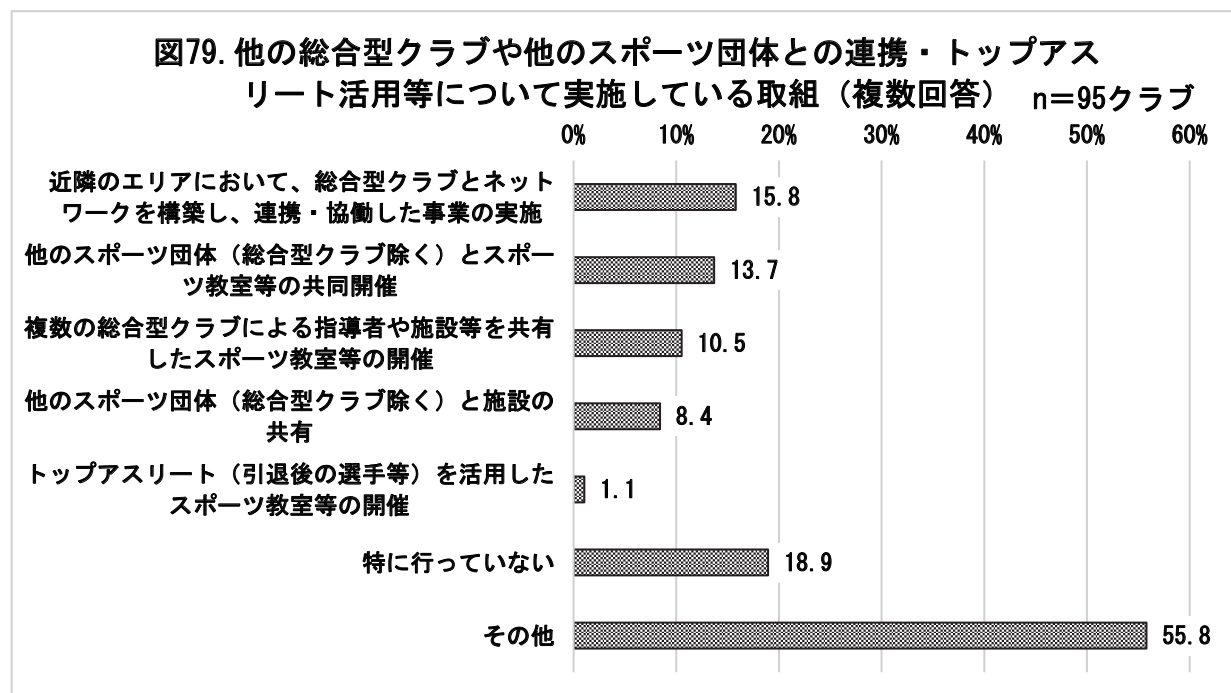
④ スポーツによる地域活性化・企業や大学との連携

スポーツによる地域活性化・企業や大学との連携に関する取組について、「特に行っていない」が 41.2%（R5 は 42.0%）と最も多かった。続いて、「スポーツによる地域活性化を目的とした連携組織（地域スポーツコミッション等）への参画・協力」が 28.9%（R5 は 25.0%）、「スポーツによる地域おこしやまちづくりに関する取組の実施」が 19.6%（R5 は 29.5%）となっていた（図 78）。「その他」の具体的な連携内容には、「教育やグラウンド管理等している財団からグラウンド管理を一部受託し地域のスポーツ機会を創出」等が挙げられた。



⑤ 他の総合型クラブや他のスポーツ団体との連携・トップアスリートの活用等

他の総合型クラブや他のスポーツ団体との連携・トップアスリートの活用等に関する取組について、「その他」が 55.8% (R5 は 2.3%) と最も多かった。続いて「特に行っていない」が 18.9% (R5 は 47.7%)、「近隣のエリアにおいて、総合型クラブとのネットワークを構築し、連携・共同した事業の実施」が 15.8% (R5 は 22.7%) であった (図 79)。「その他」の具体的な内容は、「利用してもらっている中学校の施設をシェアしている総合型クラブがあるため、イベント等への参加のお誘いやご招待をした。」等が挙げられた。



(16) クラブの広報手段について

クラブの広報手段について、「チラシ・パンフレット」が81.3%（R5は「チラシ」が59.1%）と最も多かった。続いて「ホームページ」が70.8%（R5は73.9%）、「SNS（Twitter、Facebook、Instagram）」が42.7%（R5は39.8%）であった（図80）。「その他」の具体的な内容は、「実施なし」「連携している委託事業者のホームページ」「年に一度、スポーツイベントの開催」等が挙げられた。

また、クラブの広報における課題は、「SNSの活用」が59.1%と最も多かった。続いて「広報を担当する人材確保」が54.8%であり、「広報に係る業務負担」が52.7%であった（図81）。「その他」の具体的な内容は「特になし」等が挙げられた。

図80. クラブの広報手段について（複数回答）

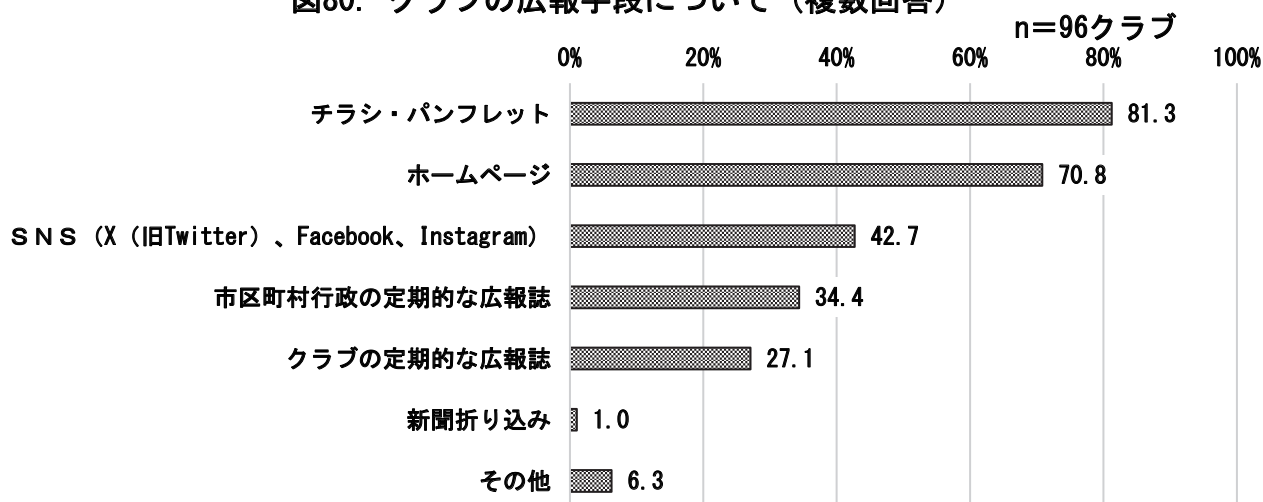
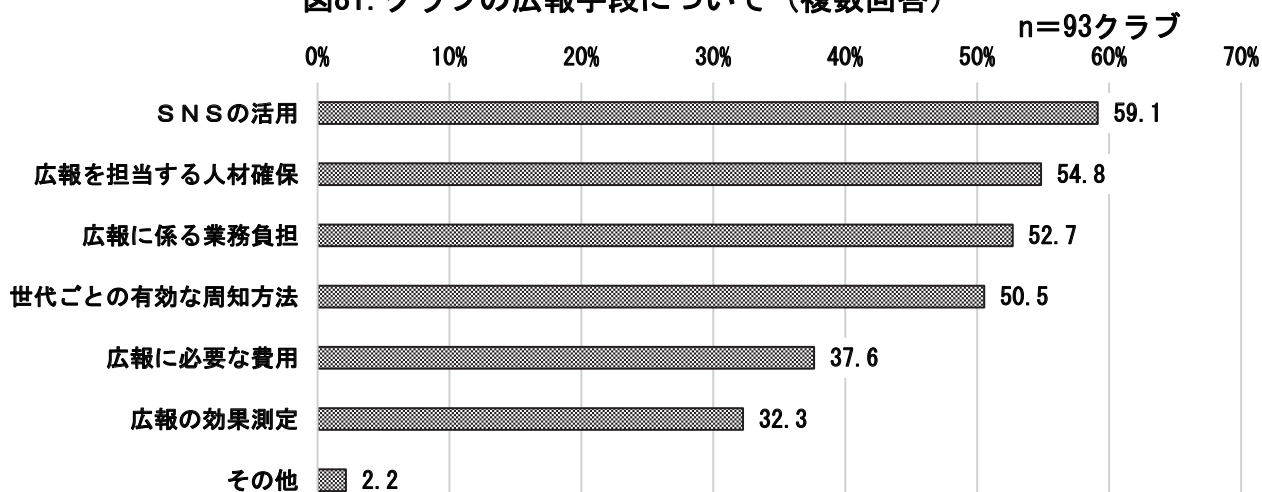


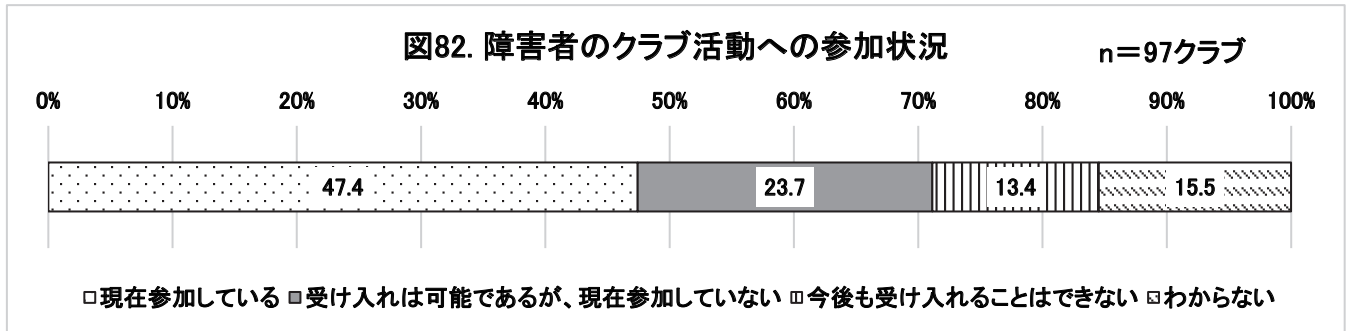
図81. クラブの広報手段について（複数回答）



(17) 障害者へのスポーツ機会の提供について

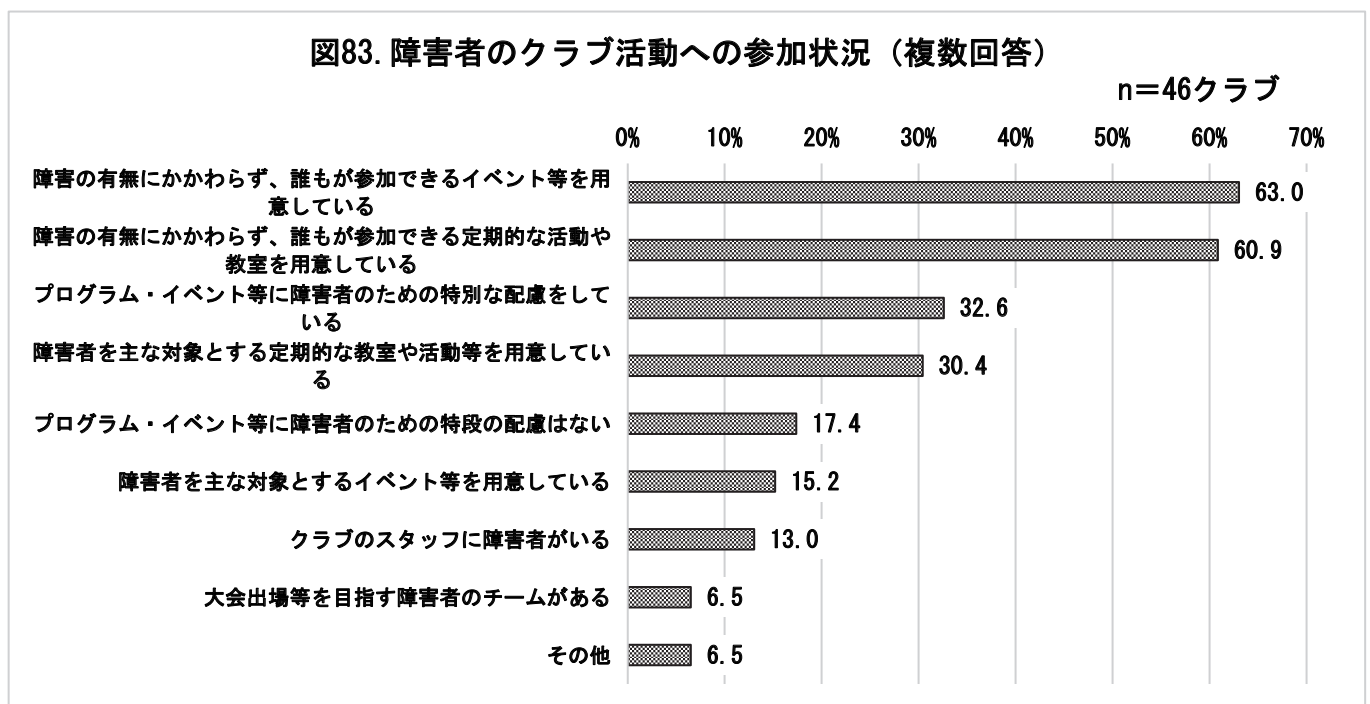
① クラブの活動に対する障害者の参加について

クラブの活動への障害者の参加について、「現在参加している」が 47.4% (R5 は 39.8%) と最も多く、続いて「受け入れは可能であるが、現在は参加していない」が 23.7% (R5 は「現在は参加していない」が 15.9%、「これまでに参加していないが受け入れは可能である」が 12.5%)、「わからない」が 15.5% (R5 は 18.2%)、であった。一方で、「今後も受け入れることはできない」が 13.4% (R5 は 13.6%) であった (図 82)。



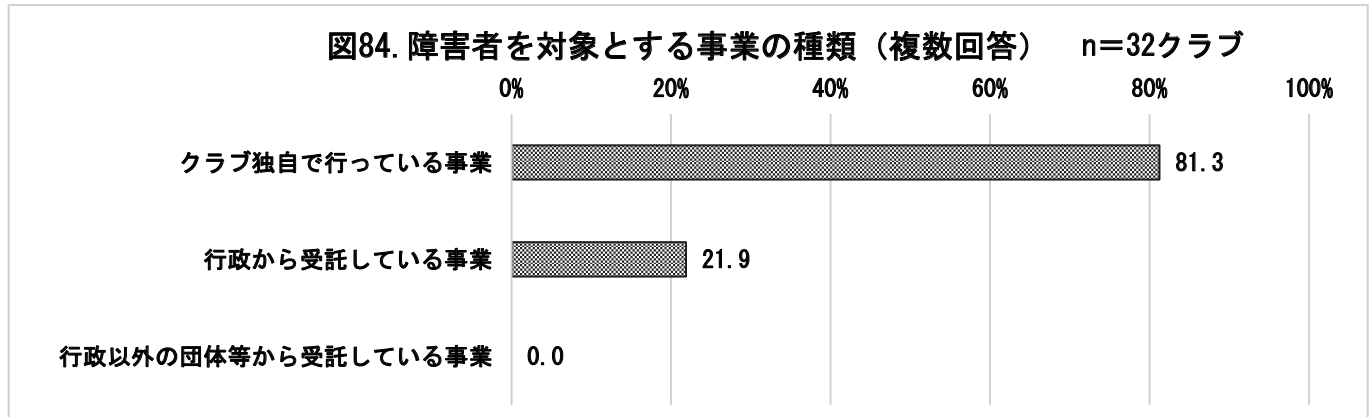
② 障害者のクラブへの参加状況について

(17) ①において「現在参加している」と回答していたクラブにおける障害者のクラブへの参加状況は、「障害の有無にかかわらず、誰もが参加できるイベント等を用意している」が 63.0%と最も多かった。続いて、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できる定期的な活動や教室を用意している」が 60.9%、「プログラム・イベント等に障害者のための特別な配慮をしている」が 32.6%であった (図 83)。「その他」の具体的な内容として、「手話教室」、「文化活動に参加」、「健常者と一緒に活動をしているが、みな障害を理解して行っている」等が挙げられた。



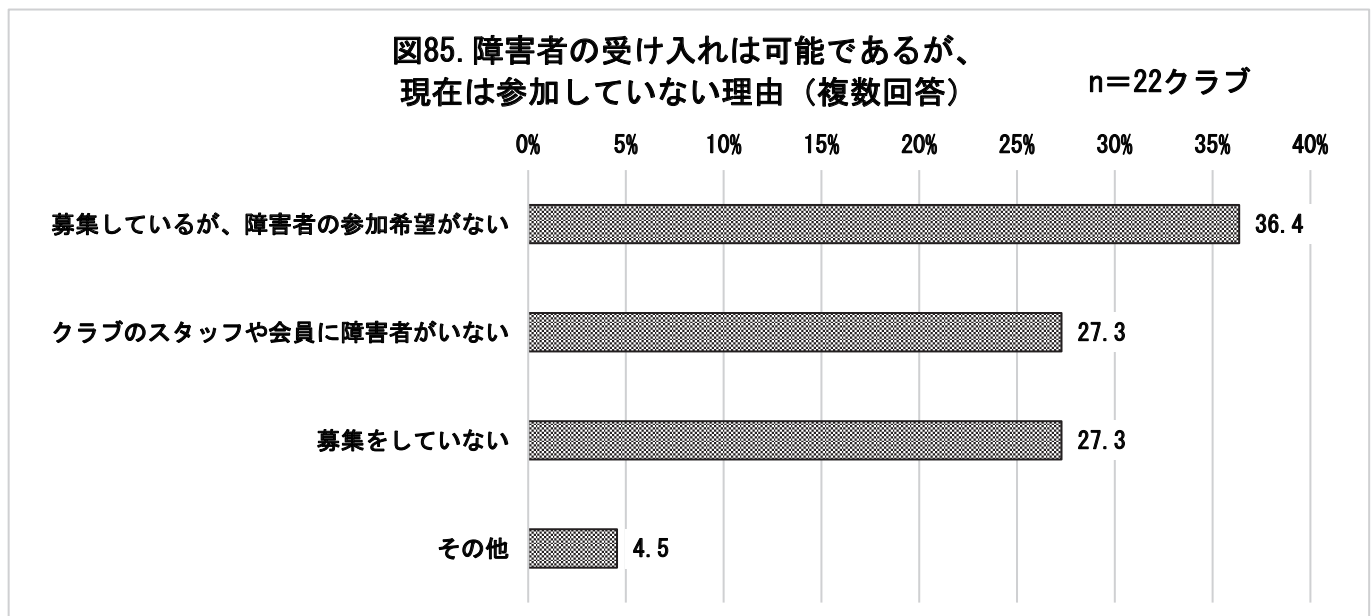
③事業の種類について

(17) ②において「定期的な活動や教室を用意している」と回答したクラブに対して、その事業の種類について尋ねたところ「クラブ独自で行っている事業」が 81.3%と最も多く、次いで「行政から受託している事業」が 21.9%、「行政以外の団体等から受託している事業」は 0.0%となっていた（図 84）。



④障害者の受け入れは可能であるが現在は参加していない理由

(17) の①において「受け入れは可能であるが、現在参加していない」と回答したクラブに対して、その理由について尋ねたところ、「募集しているが、障害者の参加希望が無い」が 36.4%と最も多く、続いて、「クラブのスタッフや障害者がいない」「募集をしていない」が 27.3%となった（図 85）。その他の具体的な内容としては、「ボッチャの練習会を実施しているが、指導者がいないため、積極的な参加の案内はしていない。」等が挙げられた。



(18) スポーツ少年団との連携について

スポーツ少年団との連携した運営や活動の実施状況について、「連携していない」が72.4%と最も多かった。続いて「地域内で行うイベント等の事業において、スポーツ少年団と協力している」「情報交換・共有の機会を設けている」が12.2%、「スポーツ少年団の行事や事業に総合型クラブとして協力している」が8.2%であった（図86）。その他の具体的な内容は、「運営に悩んだり困っている少年団へのアドバイス等のサポート」、「区にスポーツ少年団がない」等が挙げられた。

また、「連携していない」と回答したクラブに対して、少年団との今後の連携予定について尋ねたところ「連携することは考えていない」が57.7%と最も多く、次いで「今後連携することについて総合型クラブ内で検討したい」が39.4%となった。一方で、「今後連携する予定」は0.0%、「今後連携することについてスポーツ少年団に相談したい」は2.8%であった（図87）。

図86. スポーツ少年団と連携した運営や活動（複数回答）

n=98クラブ

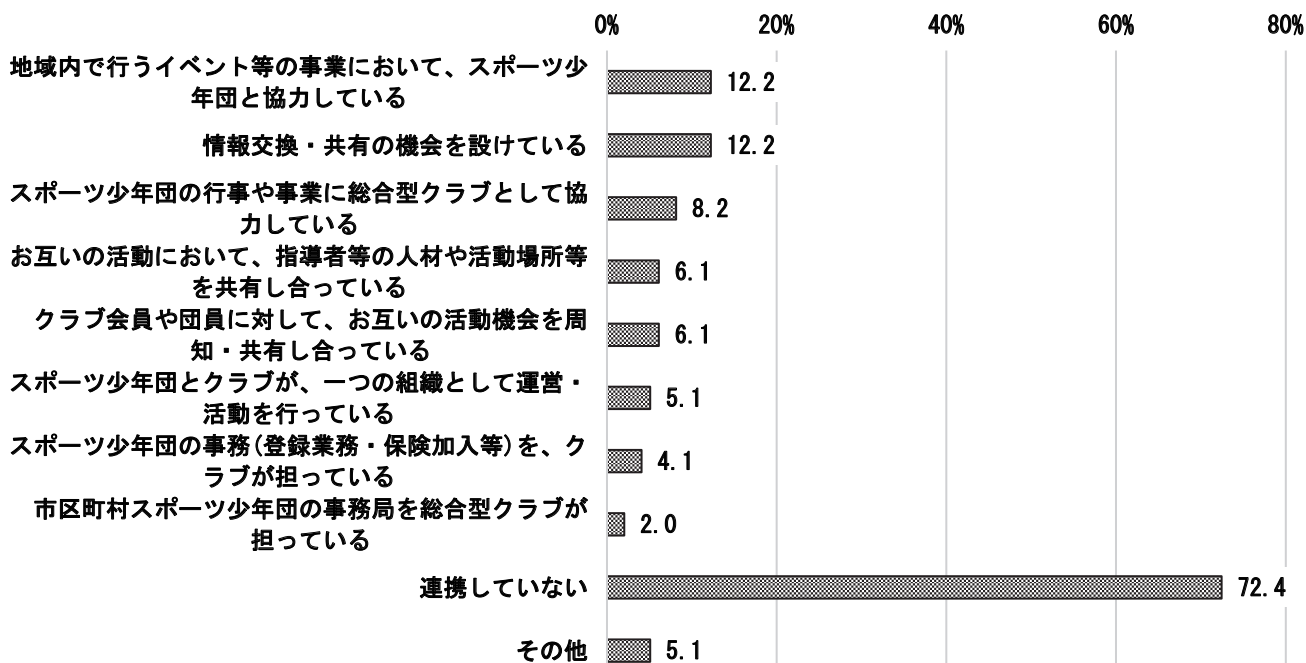
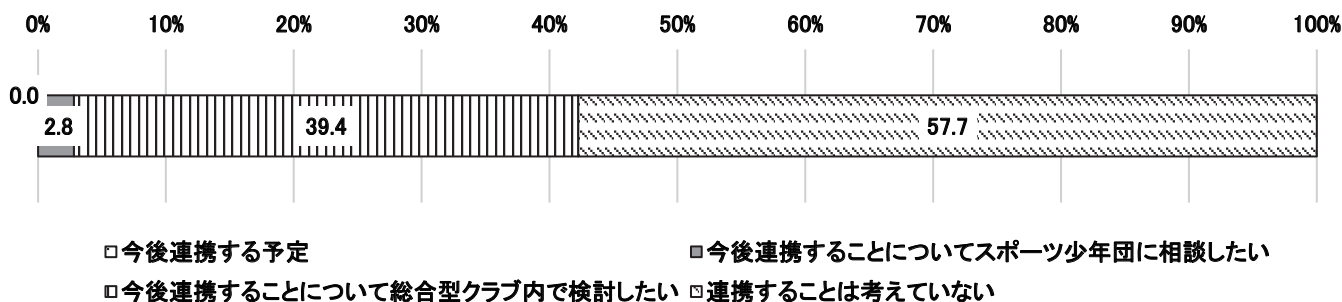
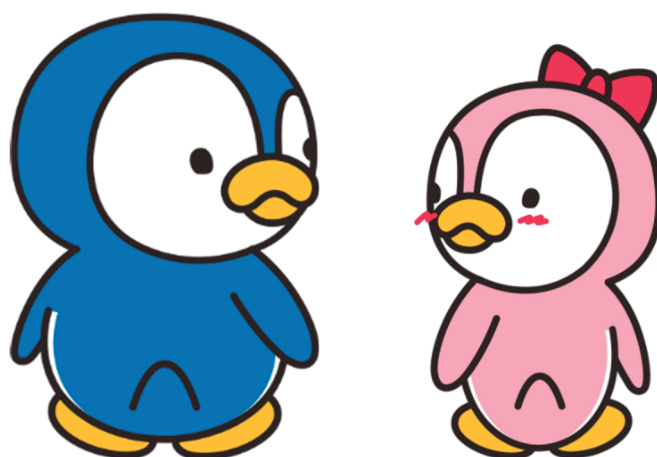


図87. 少年団との今後の連携予定

n=71クラブ





発 行 令和 7 年 3 月
公益財団法人東京都スポーツ協会
所 在 地 〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町 4 - 2
Japan Sport Olympic Square 10 階